# 品質管理報告書作成システム



# for Windows



Windows10 対応版



目 次

§1.	シスラ	テム概要	· 1 -
	$\P{1}.$	Quality Manager 概要 ······	- 2 -
		■ 概要	2 -
	¶2.	システムの起動・メイン画面	4 -
		<ul> <li>システムの起動方法</li></ul>	4 -
		■ メイン画面の見かた	4 -
§2.	マスタ	夕管理	5 -
	$\P{1}.$	混合物マスタ	- 6 -
		■ 一覧画面	···- 6 -
		■ 既存マスタを編集する	···- 6 -
		<ul> <li>マスタを新規登録する</li></ul>	7 -
		■ マスタを削除する	7 -
		■ 配合設計システム(排水性含む)から配合設計データを読み込む	8 -
	¶2.	規格値マスタ,路盤締固めマスタ	- 9 -
		■ 一覧画面	9 -
		<ul> <li>マスタを新規登録する</li></ul>	10 -
		■ 既存マスタを編集する	11 -
		■ マスタを削除する	11 -
	¶3.	旧バージョンのマスタを読み込む	12 -
		<ul> <li>Quality Manager 3.X, 1.9.X から混合物マスタを読み込む</li> </ul>	12 -
§3.	報告書	書の作成	13 -
	$\P{1}.$	報告書データファイルの作成	14 -
		■ データファイルを新規作成する	14 -
		■ データファイルの表示を絞り込む	15 -
		■ データファイルの編集を行う	15 -
		■ データファイルを削除する	16 -
		■ データファイルを複写する	16 -
	¶2.	報告書(試験結果)の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17 -
		■ 基本設定を行い、様式・管理項目を決定する	17 -
		■ 現場管理ファイルに対し、日常管理データファイルの内容をコピーする	22 -
		■ 品質管理データ編集画面の見かた、基本的な入力方法	23 -
		■ データ連動について	25 -
		■ データの保存ついて	25 -
	¶3.	各試験結果入力画面の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26 -
		■ 合成粒度試験	26 -
		■ 基準密度試験	28 -
		■ アスファルト抽出試験	29 -

	-	フラント日常管理試験成績書(近畿様式)	
	-	プラント温度測定	
	-	マーシャル安定度試験	
	-	再生骨材のアスファルト針入度推定試験	
	-	切取コア密度試験	
	-	コアラベル印刷	
	-	切取コア抽出試験	
	-	,  現場温度測定 ·····	
	-	現場密度試験	40 -
	-	。 <i>管理表・管理図</i>	41 -
	-	· 総括表 ··································	42 -
	$\P4.$	報告書の印刷	43 -
	-	品質管理試験報告書を印刷する	43 -
§4.	データ	フォルダの管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44 -
	$\P{1}.$	データフォルダを管理する	45 -
	-	データフォルダとは	45 -
	-	データフォルダの選択	46 -
	-	データフォルダの新規作成	46 -
	-	フォルダの名称変更	47 -
	-	テータフォルダの削除	47 -
	¶2.	エクスポート/インポート・・・・	48 -
	-	エクスポート(フォルダの退避)/インポート(フォルダの復帰)とは	48 -
	-	フォルダをエクスポートする	48 -
	-	フォルダをインポートする	48 -
	¶3.	バックアップ/リストア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49 -
	-	・ バックアップ(データベース全体の退避) / リストア(データベース全体の復帰) …	49 -
	-	データベースをバックアップする	49 -
	-	データベースをリストアする	49 -
§5.	環境設	定	50 -
	¶1.	環境設定	51 -
	-	環境設定を行う・・・・・・	
	¶2.	既定值設定	52 -
	-	既定値設定を行う・・・・・・	
§6.	その他	の機能	54 -
	¶1.	その他の機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55 -
		し よくある質問(FAQ)を確認する	
	-	現在のバージョンを確認する	55 -

§7.	インス	ストール
	¶1.	システムのインストール/アンインストール
		■ 各種ツールをインストールする
		■ Quality Manager をインストールする
		■ Quality Manager の初回起動について
		■ Quality Manager を最新バージョンに更新する
		■ Quality Manager をアンインストールする
§8.	注意	事項
	¶1.	注意事項
		■ データ保存場所について
		■ ライセンス登録について

# §1. システム概要

### ¶1. Quality Manager 概要

#### ■ 概要

「Quality Manager 品質管理報告書作成システム」(以下、本システム)は、下記の機能を提供します。

・合材プラント、および、舗装現場の品質管理試験結果を電子データとして記録し、品質管理試験 報告書を作成する。

・各種試験結果の管理図を作成し、傾向分析を行う。

本システムの運用の流れは下記の通りとなります。



本システムでは、データの管理を下図の親子関係で行います。 本システムを扱う上で、この概念は非常に重要です。



作成の一例を示します。

データフォルダは、「令和4年度」「令和5年度」のように作成します。

各マスタは、フォルダごとに登録します。作成したマスタは、同じフォルダ内で使用できます。

データファイルは、日常管理・会社ごとに「日常管理」「〇〇会社」のようにグループ名を登録します。 そして、 現場ごと・混合物のまとまりごとに「日常管理 密粒20」「ABC現場 密粒20」のように名称を登録します。 ページは、試験日・午前午後などの単位で登録します。

報告書データは、各品質管理試験のデータである「抽出試験」「切取コア密度試験」などが保存されます。

## ¶2. システムの起動・メイン画面

#### ■ システムの起動方法

システムを起動するには、デスクトップのショートカット「品質管理 Ver.X.X」をダブルクリックします。



#### ■ メイン画面の見かた

システムを起動すると、以下のような画面が起動します。 この画面から、フォルダ管理、マスタ登録、報告書作成、環境設定などを行います。 報告書を作成する場合は、下図の①、②、③の順に操作します。



※ 導入直後は、データファイルは存在しません。

最新表示 ボタンをクリックすると、表示を最新の状態に更新します。

# §2. マスタ管理

# ¶1. 混合物マスタ

混合物マスタ登録

#### ■ 一覧画面

メイン画面より、

ボタンを押下すると、混合物マスタの一覧画面が開きます。

よく使う混合物を登録しておく事で、報告書入力の基本設定が簡単に入力できるようになります。 ※混合物マスタについてのみ、一部のマスタが既定で準備されています。

操作メニューです。 マスタの新規追加・コピー・ 内容の編集・削除ができます。	現在登録る	されてい	れているマスタの されます。 配合設計システムからの マスタ読み込みができ					からの できます
へいいばい Manager 見時共通収生産/5時シッフェ/								
								01010
			<b>• •</b> • • • • • •	11 L Takan Ya a				
□ 新規作成	除		「「「「「「」」」。「「」」。	「一タの読み」との	ゆ 📷 羽印	い油に合データ	の読み込み	
lo. 混合物名	補足名称	ふるい分け 試験種別	突固め回数	実施 アスファルト量	理論密度	OAC密度	OAC安定度	OACフロー値
1 00-1 アスファルト安定処理			50	4.00	2.506			
2 01-1 ①粗粒度アスファルト混合物(20)			50	4.90	2.477			
3 02-1 ②密粒度アスファルト混合物(20)			50	5.20	2.463			
4 02-2 ②密粒度アスファルト混合物(13)			50	4.50	2.508			
5 03-1 ③細粒度アスファルト混合物(13)			50	7.00	2.402			
6 U4-1 ④密粒度キャッフアスファルト混合物(13)			50	5.80	2.461			
7 U5-1 ⑤密粒度アスファルト混合物(2UF) 05-2 の変粒度ファフラルト混合物(2UF)			50	5.20	2.506			
8 03-2 回告社及アスファルトル合物(13F) 08-1 の細粒度ギャップマフラマルト混合物(12F)			50	5.00	2.400			
<ul> <li>○ 07-1 (⑦細粒度エマックノアスノアルドル目初(13F)</li> <li>○ 07-1 (⑦細粒度アスファルト混合物(13F)</li> </ul>			50	5.80	2.461			
<ol> <li>0 811</li> <li>0 8-1</li> <li>0 密粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</li> </ol>			50	5.80	2.458			
2 09-1 ③開粒度アスファルト混合物(13)			50	5.80	2.461			
3 SAM-01 再生アスファルト安定処理			50	4.00	2.527	2.322		
4 SAM-02 再生密粒度アスファルト混合物(13)			50	5.80	2.429	2.340	11.00	30
5 SAM-03 再生粗粒度アスファルト混合物(20)			50	5.10	2.455	2.362		
6 SAM-04 ポーラスアスファルト混合物(13)			50	4.80	2.484	1.985		
7 SAM-05 高機能舗装混合物			50	5.20	2.493	1.985		
8 SAM-06 開粒度アスファルト混合物(13)			50	4.50	2.482	2.073		
9 S-K01 高機能舗装混合物			50	5.20	2.493	1.985	6.40	27
20 S-P01 ポーラスアスファルト混合物(13)			50	4.80	2.484	1.985	6.40	27
1 V-08 開粒度アスファルト混合物(13)			50	4.50	2.482	2.073	6.85	23

#### ・旧バージョンをお使いの方へ

Quality Manager 1.9.X / 3.X をお使いの方は、マスタを本システムに読み込む事ができます。 マスタ読み込みの方法については、P-12-を参照してください。

#### ■ 既存マスタを編集する

一覧画面から内容を変更したい行を選択し、

🛛 🎽 編集

ボタンをクリックします。(または、変更したい行

をダブルクリックします。)

変更したい内容を入力し、 🥛 保存 ボタンをクリックすると新しい入力値で更新されます。

なお、編集では、「混合物コード」を変更する事はできません。

#### ■ マスタを新規登録する

🎦 新規作成

ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。

複写新規 ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。



一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

#### ■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、 ×削除 ボタンをクリックします。

削除しようとしている混合物マスタの内容が表示されます。

x,79 ≙∰⊐_K	SAM-01	1						「前席会」
101/01 1 1-5%2	東生マ	777	II. L 900	bn.∓⊞				LIPPO-4
記名称	17±7	~ / / /	IV I' SCA			<i>5</i> -6	(なし) (なし) (なし)	
お情報 乱	数範囲			_				
	10/94	2000 S	Design (B		1111.2	82-0-121	2017(P)(0)40 50	
52 (mm)	~	9	0121202	1	AF Y	24.0		
37.5	95~	100		2	31:12	13.5	大地アスファル小量 4-00	
31.5	~			3	25'2	8.5	理試角密/度 2.527	
26.5	~			4	11:52	32.0	OAO密度 2-322	
19	50 ~	100	97.9	5	石粉	2.0	0409720	
13.2	~			6	再生骨材	20.0	CHORELS	
9.5	~			7			CAC7E-1	
4.75	~			8			アスファルト温度 ~	
2.36	20 ~	60	45.4		合 計	100.0	混合温度 ~	
1.18	~						マココッパム 新教	
600 (µn)	~						7 X J TOW REAS	
300	~						アスファルト密度	
150	~							
75	0~	10	3.9					
	管理項目	1		規格値	自主管理	a'		
		アスフォ	ァルト	~	150 ~ 18	0		
1	or [	骨柱	1	$\sim$	165~ 18	5		
着 温度	測定	混合	物	~	155 ~ 1	5		
				~	155~18	5		
		出荷法	国家	~	155 ~ 1	5		
2 現場湾	度測定	到着法	腹	~	155 ~ 18	5		
	nee mailAEs	數均法	国度	~	150 ~ 18	0		
		初転法	腹	$\sim$	$140 \sim 15$	0		

#### ■ 配合設計システム(排水性含む)から配合設計データを読み込む

■配合設計データの読み込み ボタンをクリックすると、「配合設計データの読み込み」画面が起動します。 この画面から、配合設計システムで使用したデータを読み込む事ができますので、配合設計システムと同じ データを使用して品質管理を行う事ができます。

同様に、排水性配合設計システムからデータを読み込む場合、 静排水性配合データの読み込み から行います。

<ul> <li>み込み元のデータフォルダの資択</li> <li>NN</li> <li>配合設計データフォルダ</li> <li>1 管理フォルダ1</li> <li>2 20XX年①</li> <li>3 20XX年②</li> </ul>					<ol> <li>配合設計システムのフォ 表示されます。</li> <li>読み込みたいデータが 選択します。</li> </ol>	ナルダ一覧 あるフォル	まが ~ダを	
い込むデータ	<mark>スファイルの選択</mark> 配合設計データファイル				保存先マスタ			
	ファイル名	混合物	読込 対象	混合物	混合物名	補足名称	 ふるい分け 試験種別	保存モード
再生粗料	立度アスファルト(20)R50%	R-002		B. 000				
● 丹生租村 再生密料	业度アスファルト(20)K50%(2) 立度アスファルト(13)R50%	R-002 R-003		K-UU2	○ 母主相対 ( び ノ ア ルト ) 混合物( 20 )			机税1禾仔
再生密料	立度アスファルト(13)R50% ②	R-003		R-003	✓ 再生密粒度アスファルト混合物(13)			新規保存
・ 密粒度フ 密粒度フ	アスコン 改質 (13H) アスコン 改質 (13F) ②	05-1						
密粒度フ	アスコン 再生 (13F)	05-1		05-2	✓ ⑤密粒度アスファルト混合物(13F)			上書き保存
密粒度フ	アスコン 再生 (13F)② アスコン 再生 (20E)	05-1			×			
密粒度の		03 1						
密粒度フ	アスコン 冉生 (20F)② アスファルト混合物(13F) 	05-1						
○····································	アスコン 再生 (20F) ② アスファルト混合物(13F) が既に存在する場合は、上書き保存ざ 0場合、混合物名は読み込まれません。	05-1 05-2 れます。必要に 現在の混合物	<ul> <li>□</li> <li>□</li></ul>	呆存先の湯 持されます	Compared and a compared an		OK	**>±216
1 一のコート 二書 2 2 で 7 読 チ	<sup>72コン 再生 (20F) ②</sup> <sup>72ファルト混合物(13F)</sup> <sup>が既に存在する場合は、上書き保存ざ り場合、混合物名は読み込まれません。 合設計システムの アイル一覧です。 ぶみ込みたい配合設 エックを付けます。</sup>	05-1 05-2 1ます。必要に 現在の混合物 データ ま計ファ・	<ul> <li>□</li> <li>□</li></ul>	呆存先の満 時されます	合物コードを変すしてびさい。 ③ 品質管理システムで入力します。 配合設計システムの既定値として設定さ	で使用した )混合物コ れますの	ox い混合 で、使用	<ul> <li>キャンセル</li> <li>物コードる</li> <li>混合物名;</li> <li>引したいコ</li> </ul>

内容を入力後、 ボタンをクリックすると、入力した内容を読み込みます。 OK 一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

# ¶2. 規格値マスタ,路盤締固めマスタ

#### ■ 一覧画面

メイン画面より、	規格値マスタ登録	路盤締固めマスタ登録	ボタンを押
ションタの 野	ニーン=ととと		

ボタンを押下すると、それぞ

れ、マスタの一覧画面が開きます。

規格値マスタでは、混合物マスタの規格値を計算する為の規格範囲をセットしておく事ができます。 路盤締固めマスタでは、締固め試験に使用する容器等の基本情報を登録しておく事ができます。

#### [規格値マスタ]

🖓 Quality Manager - 品質管理報告書作成システム - ロ ×	
規格値マスタ登録 5間でる	操作メニューです。
データフォルダ <mark>SAMPLE</mark>	マスタの新規追加・コピー・
🗋 新規作成 🛛 福写新規 🔹 🖉 編集 🔹 🗙 削除 🔹 最新表示 📄 🗕	内容の編集・削除ができます。
No	
1 X030 X3 瀝青安定処理 2 X031 X3 基層	現在登録されているマスタの
3 X032 X3 表層	一覧が表示されます。
4 XU6U X6 没有安定处理 5 X061 X6 基層	
6 X062 X6 表層	
7 X100 X10 瀝青安定処理 8 X101 X10 基層	
9 X102 X10 表層	

路盤締固めマスタの操作方法については、規格値マスタと同じです。

#### [路盤締固めマスタ]

da o	)uality Ma	nager - 品質管現	里報告き	き作成システム		—		×	
路魯	路盤締固めマスタ登録 🦷 閉じる								
デー	タフォルダ	SAMPLE							
<u></u>	新規作成	■ 複写	新規	☑ 編集	★削除	≥ 最新	i表示		
No.	路盤	帝国め名称							
1	R01	路盤 1	]						
2	RO2	路盤2	1						
3	R03	路盤3							
4	RO4	路盤4							
4	RO4	路盤4							

#### マスタ管理

#### ■ マスタを新規登録する

1) 新規作成
 1) 調複写新規

成 ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。

. ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。

[規格値マスタ]

規	と格値コード X03	3			【複	写新	規]
規	R格値名称 X3:	表層					
	管理項		規格	値	自主	管理	直
	合成物度	粒度 2.36mm	韵計值 _	7.0 7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
	- 1041-12	粒度 75µm	設計値 _	· 3.0 · 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
日常	基準密度試験	基準密度	設計値 _		設計値	+ -	
管理		粒度 2.36mm	設計値 _	7.0 7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
	アスファルト 抽出試験	粒度 75µm	設計値 _	3.0 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
		アスファルト量	設計値 _	0.50 0.50	設計値	+ -	0.40 0.40
		締固め度(個々)	~	/		$\sim$	
		締固ぬ度(平均)	96.5 ~	/	96.8	~	
	コア密度試験	厚さ(個々)	設計値 -	0.7	設計値	+ -	0.6
ŦB		厚さ(平均)	設計値 -		設計値	+ -	
現管理		粒度 2.36mm	設計値 _	7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
÷٤	コア抽出試験	粒度 75µm	設計値 _	3.0 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
		アスファルト量	設計値 -	0.50	設計値	+	0.40 0.40
	現場密度試驗	締固め度(個々)	~	/		$\sim$	
		締固め度(平均)	96.5 ~	/	96.8	~	

コードは、フォルダ内で 一意になるように入力します。 名称・規格値の範囲を入力します。 ここで入力した規格値は、混合物 マスタの「規格範囲の計算」機能 でのみ使用されます。 P-9-「設計値」は混合物マスタの左側に 入力した値です。

路盤締固めマスタの操作方法については、規格値マスタと同じです。

[路盤締固めマスタ]

路盤締固めマスタ							×
路盤締固めコード						【複】	「新規】
路盤締固め名称 路盤 1							
試験前(砂+容器)質量	4002.7	メイキン	ブ用乱	数範囲			
ベースプレート中の砂の質量	1441.9	試験前	(砂+	容器)貿	重	4001.0 $\sim$	4004.0
	1.000	ベースプ	レートロ	中の砂の賃	重量	1441.0 $\sim$	1446.0
砂の単位体積負重	1.360	砂の草	¥ 位	体積質	量	1.355 $\sim$	1.365
容器質量	50.2	容	쁆	質	量	50.0 $\sim$	51.0
最大乾燥密度	2.475	含	카		比	4.30 $\sim$	4.40
		最 大	乾	燥密	度	2.470 $\sim$	2.480
		締	古	Ø	度	$_{98.0}\sim$	99.0
		穴	Ð	直	径	$_{9.5}\sim$	10.5
		穴	Ø	深	ð	14.5 $\sim$	15.5
					,保存	F Ŧ	ッンセル

# 既存マスタを編集する 一覧画面から内容を変更したい行を選択し、 「編集」ボタンをクリックします。(または、変更したい行をダブルクリックします。) 変更したい内容を入力し、 「保存」ボタンをクリックすると新しい入力値で更新されます。 なお、編集では「規格値コード」「路盤締固めコード」を変更する事はできません。

×削除

#### ■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、

ボタンをクリックします。

削除しようとしている混合物マスタの内容が表示されます。

OK

をクリックすると、選択したマスタが削除されます。

#### [規格値マスタ]

規格値マスタ ×								
規	と格値コード X03	2				[	削將	余】
邞	R格値名称 X3 i	表層						
	管理項	8	規	格値		自主	管理	値
	合式結底	粒度 2.36mm	設計値	+ -	7.0 7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
	合力が生え	粒度 75µm	設計値	+ -	3.0 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
日常	基準密度試験	基準密度	設計値	+ -		設計値	+ -	
管理		粒度 2.36mm	設計値	+ -	7.0 7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
	アスファルト 抽出試験	粒度 75µm	設計値	+ -	3.0 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
		アスファルト量	設計値	+ -	0.50 0.50	設計値	+ -	0.40 0.40
		締固め度(個々)		$\sim$			~	
		締固め度(平均)	96.5	$\sim$		96.8	$\sim$	
	コア密度試験	厚さ(個々)	設計値	+ -	0.7	設計値	+ -	0.6
ŦB		厚さ(平均)	設計値	+ -		設計値	+ -	
机場管理		粒度 2.36mm	設計値	+ -	7.0 7.0	設計値	+ -	6.5 6.5
۶Ē	コア抽出試験	粒度 75µm	設計値	+ -	3.0 3.0	設計値	+ -	2.5 2.5
		アスファルト量	設計値	+ -	0.50	設計値	+ -	0.40 0.40
	相坦应应封除	締固め度(個々)		~			~	
	4元•杨江川县司马两	締固め度(平均)	96.5	$\sim$		96.8	~	
	このマスタを削除しま	ます。よろしいですか	?	C	Ж	+	ヤンt	2.16

#### [路盤締固めマスタ]

路盤締固めマスタ						×
路盤締固めコード R01 路盤締固め名称 路盤1					【 <b>肖</b>	除】
試験前(砂+容器)質量	4002.7	メイキング用語	乱数範囲			
ベースプレート中の砂の質量	1441.9	試験前(砂	+容器)	質量	4001.0 $\sim$	4004.0
		ベースプレーł	中の砂の	質量	1441.0 $\sim$	1446.0
砂の単位体積真重	1.360	砂の単位	(体積)	〔重	1.355 $\sim$	1.365
容器質量	50.2	容器	質	量	50.0 $\sim$	51.0
最大乾燥密度	2.475	含	水	ĿĿ	4.30 $\sim$	4.40
		最大乾	燥密	度	2.470 $\sim$	2.480
		締固		度	$_{98.0}\sim$	99.0
		穴の	直	径	$_{9.5}\sim$	10.5
		穴の		ð	14.5 $\sim$	15.5
<u>ב</u> のマス5	を削除します。	。よろしいですか	?	OK	++	ンセル

# ¶3. 旧バージョンのマスタを読み込む

#### ■ Quality Manager 3.X, 1.9.X から混合物マスタを読み込む

メイン画面から、 旧バージョンマスタ変換 ボタンを使用すると、旧バージョンの品質管理報告書作成 システム【Quality Manager Ver.1.9.X / 3.X】で作成した混合物マスタ、路盤締固めマスタを本システムに読み

込む事ができます。

な 旧バージョンマスタ変換 🔽	旧バージョンの配合マスタ
旧バージョン(3×以前)のマスタ内容を、本システムのマスタに保存します。	ファイルを選択します。
旧パージョンのマスタンアイルの選択	
マスタファイルの選択  選択するマスタファイル名は「GumMaster.mdb」です。	旧バージョンの混合物マスタ
C:#Users¥user¥Desktop¥QumMaster.mdb	時がまニャルナナ
一混合物マスタの変換設定	一見が衣小されより。
(注意) ・同一のコードが既に存在する場合は、上書を保存されます。必要に広じて保存先マスタのコードを変更してださい。 ・変換処理から時外したいマスタがある場合は、保存先マスタのコードを空間にしてださい。 ・抽血は繁晴の広鉄短間間、保津販のシックスリー・抽出は繁新日期の自然保存されます。	注たけの日本に
No. IBバージョンマスタ 保存先マスタ 保存先マスタ	読み込む混合物マスタの一見
□ +          ○ た         ○ た         ● た         ● 株正名称         文換子           1         AMODI         アスファルト安定処理         ● 料理産アスコン(13)         ● 料理産アスコン(13)         ● 料理産アスコン(13)         ● 料理産アスコン(13)         ● 料理産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 料理産アスコン(20)         ● 料理産アスコン(20)         ● 料理産アスコン(20)         ● 料理産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(20)         ● 単型産アスコン(13)         ● ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	です。 読み込みたい混合物について、 本システムで使用するコードを 入力します。 読み込まない場合は空欄を設定 します。 ※コードが重複している場合、 強制的に上書きしますので ご注意ください。
その他のマスタの変換設定            路盤締囚めマスタを変換する         (注意)           (注意)         (注意)	
· (●) 「 (●) 「 (●) 「 (●) 「 (●) 「 (●) 「 (●) 「 (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●) (●)	変換開始を押すと、読み込みを 行います。
チェックをつけると、路盤締固めマスタについて、 登録されている全ての内容を上書き更新します。	

読み込みが正常に完了すると、ダイアログが表示されますので **OK** をクリックします。 各マスタの一覧画面に対し、読み込んだ混合物マスタが追加されます。

•注意!

この機能はシステム導入時専用の処理です。登録済みのマスタを上書きする場合もあるため、十分注意して作業を行って下さい。

# §3. 報告書の作成

## ¶1. 報告書データファイルの作成

#### ■ データファイルを新規作成する

本システムでは、現場ごとの報告書を1つのデータファイルとして管理します。 報告書を作成するには、まず、データファイルを作成する必要があります。 データファイルは、メイン画面より作成します。

※ 表示分類・グループの選択欄は、システムに登録されている全ての内容が選択リストに表示されます。



#### [運用しやすいファイル名の参考例]

項目	説明
分類・グループ名	例として、日常管理の場合は「日常管理」と登録します。
	現場管理の場合は「〇〇〇会社」などの会社名を登録します。
	先頭に数値を振っておくと、数値の順序で並ぶためおすすめです。
ファイル名	フォルダ内で一意になるよう登録します。
	現場名、混合物の順番で登録すると現場ごとにファイルが並ぶためおすすめです。

#### ■ データファイルの表示を絞り込む

「表示分類・グループ」を選択すると、データファイル一覧に表示するグループを絞り込む事が出来ます。 例としてグループ名に会社名を登録しておくと、会社名単位に現場管理を行う事ができます。 全てのグループを表示させる場合、表示グループ欄を空欄にします。

※ 表示分類・グループの選択欄は、システムに登録されている全ての内容が選択リストに表示されます。

🙀 Quality Manager - 品質管理報告書作成システム		-	- 🗆 X
品質管理報告書作成システム Ver.4.6			システム終了
データフォルダ SAMPLE			
新規作成 编 複写新規 2 編集	×削除 図最新表示 表示分類・グループ か行	~ 22_00建設制 ~	
No. 分類名  グループ名	データファイル	大 混合物マス:	2登録 ^
1 カイテ 22_〇〇建設制	○○現場 安定処理		7848
2 017 22_00建設物 3 か行 22 00建設納	○○現場 密粒 20	発展練行医内マ	2.2合音表
			v
			「か行」分類、かつ 「22_〇〇建設㈱」グループ のみ表示されています。

#### ■ データファイルの編集を行う

データファイルに試験結果を入力、編集、印刷などを行うには、「品質管理データ編集画面」を表示します。 品質管理データ編集画面の使用方法は、P - 17 - を参照してください。

💑 Quality Manager - 品質管理報告書作成ジステム	編集」たいファイルを選択]
品質管理報告書作成システム Ver.4.6	
データフォルダ SAMPLE	編集をクリックします。
	または、編集を行いたいファイルを
	ガゴルカナナ
N0 万規名 クルーフ名 データノアイル X七     St     Ax4= 02 ○○349年549     ○○14月日 中空加速m	ダブルクリックします。
1 //T 22_00建設㈱ 00現場 女走処理	
2 //1 2 //1 22 ○○建設㈱ ○○現場 密粒 20	
パーロール Munue, 品質的現象書所合い75/ _ ロ Y	
	品質管理データ編集画面が
1913日1日112 2月111 22.00連股時 データファルが SMPLE データファイル ○○現場 安定処理 分話 グループ か行 22.00連股時	まニャルナナ
プ基本設定 J 保存 J Encel 印刷	衣小されます。
日常管理 合成位度 基準密度 抽出胡椒 二道教 マーシッル 講算 現場管理 コア密度 コア抽出 現場温度 現場密度 管理表 総括表	

#### ■ データファイルを削除する

nager - 品質管理報告書 品質管理報告書作成システム Ver.4.6 ②削除ボタンをクリックします。 スフォルダ <mark>SAMPLE</mark> ①新規作成 □ 複写新規 ビ編集 X前除 回最新表示 表示分類・グループ か行 ✓ 1 カイテ 21\_00株式会社 □□現場 安定処理 カイテ -21 口口株式会社 □□現場 粗粒 13 ①削除したいファイルを選択 か行 21\_00株式会社 □□現場 密粒 13 22\_00建設㈱ 22\_00建設㈱ か行 ○○現場 安定処理 します。 ○○現場 粗粒 20 か行 カイテ ○○現場 密粒 20 23\_柏崎建設工業㈱ か行 ××道路工事 9 力行 99\_000会社 ZZ現場 密粒 20 データファイルを削除します。よろしいですか? ③確認画面が表示されますので、 |削除 分類名 <mark>か行</mark> 削除してもよい場合は -プ名 99\_000会社 OKをクリックします。 ファイル名 ZZ現場 密粒 20 キャンセル OK

削除はデータファイルと、データファイルに格納されているデータを削除します。

#### ■ データファイルを複写する

複写新規は、データファイルに格納されているデータを全てコピーして、新しいデータファイルを作成します。



## ¶2. 報告書(試験結果)の入力

#### ■ 基本設定を行い、様式・管理項目を決定する

メイン画面から、データファイルの編集を行うと、まず「基本設定画面」が表示されます。 この画面から、作成する報告書の様式、混合物の種別、計算区分、配合率、規格値などの設定を行います。 品質管理に関するこれら基本的事項は、全て基本設定から入力します。 基本設定を行う事で、試験値の入力や管理図の利用ができるようになります。



#### [画面概要]

項目	説明
1	データファイル、分類名、グループ名、メモは、一覧画面に表示される名称です。
	会社名、プラント名、報告日、工事名、施工場所、施工業者は、報告書Excelに印刷する内容を
	設定します。
	出力様式関連の欄は、作成する報告書や実施する試験に合わせて決定します。
	※表示分類・グループの選択欄は、システム全ての登録内容が選択リストに表示されます。
2	「ページ設定」タブの上段では、管理対象となる混合物の情報、使用する規格値を入力します。
	使用する混合物に合わせて入力します。
3	「ページ設定」タブの下段では、作成する報告書を決定します。
	チェックを付けた報告書を入力・Excel出力する事ができます。
4	「混合物1~混合物5」タブでは、混合物の粒度・密度や、品質管理に関わる規格値、自主管理
	値を設定します。また、管理図・温度管理で使用する管理範囲を決定します。

次頁から画面の操作方法を説明します。

・ ①ファイル設定
基本設定
<mark>データファイル</mark> KLM現場 再生密粒 13
────────────────────────────────────
<u> </u>
メモ 【品質管理 標準様式】
会社名 (制創風道路
プラント名 田中合材プラント
報告日 2022年05月20日 ~
工事名 〇〇道路 補修工事
施工場所 柏崎市××
施工業者 锑創風道路
表紙用混合物           名
再生密粒度アスファルト混合物(13)
17密度試験 標準様式 V
抽出試験方法 遠心分離法 ~
プラント温度項目種別時間 > 初転圧温度下限値 110
現場温度項目種別 台数 > ※現場温度グラフに描画されます。
合成粒度計算種別 粒度範囲の有るふるい目のみ >

データファイルの設定を行います。 重要な項目ですので、最初に全て 設定します。

#### [操作の流れ]

- 1. データファイル名、分類名、グループ名、メモ、会社名、プラント名、報告日、工事名、施工場所、施工業者を入力します。
- 2. 出力様式関連の欄から、使用様式を決定します。

3. ②ページ設定(上段)へ

[ファイル設定]	
項目	説明
データファイル・分類名	一覧の表示に使用します。
グループ名・メモ	データファイル名は空にできません。
会社名・プラント名	Excel印刷に使用します。
報告日・工事名	改行は[Ctrl + Enter]で行います。
施工場所、施工業者	
表紙用混合物名	
表紙	作成する報告書の様式を選択します。
基準密度·抽出	この選択により、画面右「ページ設定」欄で選択できるチェック内容が変化します。
	また、出力される報告書Excelの様式が変化します。
	下記の2種類の中から選択します。
	·標準様式 ·近畿様式
コア密度試験	現場管理「切取コア密度試験」のExcel出力様式を選択します。
	下記の4種類の中から選択します。
	·標準様式 ·栃木様式 ·東北様式 ·中部様式
抽出試験方法	選択した抽出試験方法で、抽出試験の計算、報告書Excelの出力が行われます。
	対象は日常管理「プラント抽出試験」および、現場管理「切取コア抽出試験」です。
	下記の3種類の中から選択します。
	・ソックスレー法・遠心分離法・・焼却法
プラント温度項目種別	温度管理で使用する管理項目の設定を行います。
現場温度項目種別	既定値は、プラントが「時間」、現場が「台数」です。
	下記の2種類の中から選択します。
	・時間→ 出荷時間で温度管理します ・台数→ 出荷台数で温度管理します
合成粒度計算種別	合成粒度表において、合成粒度を算出する条件を下記の2種類から選択します。
	<ul> <li>・全てのふるい目を計算</li> <li>・粒度範囲の有るふるい目のみ</li> </ul>
9.5mmふるい	当該のふるいを使用する場合、「使用する」を選択します。
1.18mmふるい	既定値は「使用しない」です。
初転圧温度下限値	現場温度の初転圧温度規格値に使用されます。

	・ ②ページ設定(上段)		
Provide Table Labor Lab		×	入力する混合物を決定します。
正式         1.1         正式         1.2         1.2         1.2         1.2         1.2 <th1.2< th=""> <th1.2< th=""></th1.2<></th1.2<>	パージ設定 混合物1 混合物2 混合物3 混合物4 混合物5		最初に全て設定します。
単数の         日本	Na         混合物         混合物名         補足名称         ふる( 試験)           1	分け 基準密 密度 マーンペル計算方法 コア厚さ コア 種別 度転送 計算方法 密度 空隙率 小数 設計工種	
       	Common 2 中生的短度アスファルト混合 コールド     Common 2 SAM-02 再生的短度アスファルト混合 コールド     Common 2 SAM-02 再生的短度アスファール 2 (たい)	ビン ロ かさ く 標準 く 12000 く 1桁 く	
	3 Shife US V 舟主祖位度アスファルトル語 (Vab) 4 V (内ab)	<ul> <li>○ □ //c ○ 標準 ○ 〒30/6 ○ 1/11 ○</li> <li>○ □ //c ○ 標準 ○ 〒40/6 ○ 1/11 ○</li> </ul>	[操作の流れ]
	5 V (731) <	◇ 」 かさ ◇ 標準 ◇ 平均のみ ◇ 1桁 ◇	1. 混合物コードを選択します。
		※コア設計厚は、管理図に表示される規格値の計算に利用されます。	
す。         す。           ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	💫 日常管理データのコピー	※データが登録されている箇所は背景が緑色で表示されます。	2. ふるい分け試験種別 ~ コア設計厚 を設定しま
● 「日本のないの」         ● 日本のないの」	行行 No. 日付 挿	日常管理 現場管理 3成 基準 抽出 返畿 ブラ マー 難字 コア コア 現場 現場	す。
● 「日本ははますのかいた」の「日本」         ● 「日本」の「日本」           ● 「日本」の「日本」         ● 「日本」の「日本」           ● 「日本」         ● 「日本」の「日本」           ● 「日本」         ● 「日本」の「日本」           ● 「日本」         ● 「日本」           ● 「日本」<	▲ 「味 1 2022/05/18 AM + - 1:再生密粒度アスファルトジン E		
● 「日本ははなアクストム         ● 「日」● 「日」● 「日」● 「日」● 「日」● 「日」● 「日」● 「日」	2 2022/05/19 AM + - 1:再生密粒度アスファルトシー 3 2022/05/18 AM + - 2:再生密粒度アスファルトシー		3. 規格値コードを選択します。
	4 2022/05/20 + - 2:再生密粒度アスファルトン 5 2022/06/14 + - 3:再生相粒度アスファルトン		
Image: Control (現在)         Image: Control (Image: Contro)))           Image: Image: Image: Ima	6 2022/06/15 + - 3:再生租粒度アスファルトシー		4. 混合物の粒度・密度等、および、規格値の確認
第四日         第回日         第回日           5. ③ページ設定(下段)へ           「第二日         第回 混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。 混合物コード           混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。           混合物コード         混合物なる設定が読み込まれます。           滞みるの設定が読み込まれる対象は下記の欄です。         ・混合物名・粒度範囲・実施知度・人材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC密定度 ・OACフロー値・デスファルト種類・デスファルト播度・デスファルト温度 ・混合物名           第ビスの名やを使用する混合物名、補足名称を入力します。         ・アスファルト構築の・プスファルト構築の、デスファルト構築の、ジスファルト温度 ・混合物名           第ビスロー値・デスファルト構築の・プスファルト構築の、デスファルト構築の、ジスファルト構築の、ジスマクルト 、定合物名         ・アスファルト構築の、ジスファルト構築の、デスファルト構築の、デスファルト 、これの日本のたきます。           福屋名称         使用する混合物名、補足名称を入力します。           「なしの場合は従来の合成物度素のみの処理になります。         ・「なしの場合は従来の合成物度素のみの処理になります。           「なしの場合は従来の合成物度素のみの処理になります。         ・「なしの場合は従来の合成物度素のみの処理になります。           「なしの場合は従来の合成物度します。         ・「なしの場合は従来のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成物度表のみの処理になります。         ・「なし」の場合は従来の合成物度素のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成物度します。         ・「なし」の場合は従来のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成のためと選択します。         ・「なし」の一次で変更していためます。           「なん、かさ、見掛・ノギス法         ・「なん、かさ、見掛、ノギス法し、           「なん、かさ、見算いの子の合成物の行いてます。         ・「支配やの合成を変更の合成など、かさ、見掛、ノギス法し、           「なし」のつくシンク密度素のの合成などでのういな行います。         ・「なん、かさ、「なん」の方かです。           「なします」」」また、         ・「なん」のマーシンクル酸塩 のるのたます。           「なします」」」」ま			についてけ「混合物1~5」タブから行います
Image         5. ③ページ設定(下段)へ           「スージ設定]         「夏目         説明           混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。           混合物マスタに登録してある設定が読み込まれます。         選択すると、登録してある設定が読み込まれます。           選択すると、登録してある設定が読み込まれます。         ごよれる対象に下記の欄です。           ・混合物名         *位置の間・実施松度・材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト量, 理論密度・OAC密度・沢スファルト温度 ・辺合温度           ・200701         ・ごろスファルト通算・デスファルト温度・アスファルト温度 ・混合物名           正なellの間などに利用されます。           補足名称         使用する混合物名、補足名称を入力します。           ・たいつい間がなどに利用されます。           ・したしの場合は従来の合成拡度表のみの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成拡度表のみの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成拡度表ののの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成拡度表ののの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成拡度表ののの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成加度度ののの処理になります。           ・「たしの場合に従来の合成加度度が取取って密度が疑の「基準密度」に転送する場合、           ・「たしの場合に従来の合成加度度」の取って密度調整の「基本会なります。           ・「たしの場合に従来の合成加度度が取取って密度が疑の「基本会なります。           ・「ため」の「国際」」を設定するがます。           ・「ため」の「国際」」を認定するためを、チェックの状態は保持されます。           ・「ため」の「国際」」を認定の意味がなるこれます。           ・「ため」の事業に使用されます。           ・「ため」の事業に使用されます。           ・「ため」」のます。           「重要に、かさ、見掛、ノギス法           マーシャル表面の目的ます。           「重要に、かさ、見掛、ノギス法           マーシャル設置のに使用されます。「厚空のの単常のに使用されます。			
INDEX DECISION           項目         説明           混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。           混合物マスタに登録してある設定が読み込まれます。         読み込まれる対象は下記の欄です。           混合物マスタに登録してある設定が読み込まれます。         読み込まれる対象は下記の欄です。           ・混合物マスタに登録してある設定が読み込まれます。         読み込まれる対象は下記の欄です。           ・混合物マスタに登録してある設定が読み込まれます。         読み込まれる対象は下記の欄です。           ・混合物マイタンド量報と混合物名(地定変の)のなどのまた。         ・アスファルト量・理論密度・クAC密度・規格値、OAC密定度 ・OACフロー値・デスファルト種類・デスファルト電度           ・アスファルト電(使用する混合物マージールトロン・         ・混合物2           ・混合物ス         Excel印刷などに利用されます。           増足名称         使用する混合物名(地定名や入力します。           ・活合物スタルクロサイ、全てを入力する場合は空欄でも構いません。            混合物名         Excel印刷などに利用されます。           ・活合物名(使用する混合物ス(地上ながったります。)         ・パム・ジャンドン・コールドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。         ・パない分け試験を行う場合は、ホットビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。         ・パない分けます。           ・ない分け試験を行う場合は、ホットビン         ふるい分け試験を行う場合は、ホットビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホットビン         ・パなし、カンビン           ・パなし、         ・シンドンまた、           「などのがりのたるためたまのの型になります。         ・パなし、           「などのがらごを変度け加います。         ・デンタンを変度はないます。           「などの「の「などを変度は知」」、および、「コアを変したやくのまたます。         ・安都・小さ・見指、ノギス法           マーシャル計算方法         - 密度         ・変度が	行行追力ロ		5 ③ページ設定(下段)へ
「東日         説明           混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。 選択すると、登録してある肉容が表示されます。 選択すると、登録してある肉容が表示されます。 選択すると、登録してある肉容が表示されます。           混合物マスクに登録してある肉容が表示されます。         この人気ないます。           読みが込まれる対象は下記の欄です。         ・混合物マスクアルト量・理論密度・材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト量・理論密度・0AC密度・規格値・0AC安定度 ・0AC2ロー値・デスファルト種類・デスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度 ※マスタを使用すず、全てを入力ち場合は空欄でも構いません。           混合物名         作用する混合物名、補足名称を入力します。           液合物名         たoce目刷などに利用されます。           補足名称         使用する混合物名、補足名称を入力します。           水マスタを使用すず、全てを入力ち場合は空欄でも構いません。         たるのに利用されます。           「たるに目刷などこ利用されます。         ・アスファルト電算・デスファルト電算・デスファルト電度           水マスタを使用すず、全てを入力ち場合は空欄でも構いません。         たるについり刷なります。           「たい目の開などこ利用されます。         ・アスファルト電算・デスファルト電算・デスファルト電算・デスファルト電度           「なた」、デュックの状態は保持されません。         たかし、デュックの状態は保持されません。           富健の「の「な変良」を切取って密度」に使用されます。         ・ たな・しかさ・見掛・ノギス法           「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。         ・ 表載・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         「「整 に要のの計算は空がしてのみ行います。           「国型」         : 真空パックを含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「 理 二 標 理 の「日本れます。「 定 読いた」           「日型         : 真空パックを変更できます。           「 空 隙率         : 実際率の計算は空がのできっ。           「 上 空 隙         ・ ご 客 (こ い を つ い ます。           マーシャル計算方法        : 空 隙率の計算はでする。 <t< th=""><th>[ページ記守]</th><th></th><th>5. ③•、 之政定(下权)、</th></t<>	[ページ記守]		5. ③•、 之政定(下权)、
現日         読む           混合物コード         混合物は最大5個、設定できます。 設定した行番号と混合物名は、システムの様々な場所で使用されます。 設たすると数量いである政定が読み込まれます。 読み込まれる対象は下記の欄です。           ・混合物名、松皮範囲・実施和度・材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度 ・OACフロー値・アスファルト種類・アスファルト溜度 ・アスファルト器度・アスファルト温度 ・混合温度           ・認合物名           施名を構成している数量が読み込まれます。           読み込まれる対象は下記の欄です。           ・混合物名、松皮範囲せず、全てな入力する場合は空離でも構いません。           ことの自り刷などに利用されます。           ・混合物名           施屋名称           レスローロ           ・ない分け試験を行う場合は、ホットビンキたはコールドビンを選択します。           ・(なし)・ホットビン・コールドビン ふるいうけ試験を行う場合は、ホットビン・たたいコールドビン ふるいうけ試験を行う場合は、ホットビンキたはコールドビンを選択します。           ・なしりの場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           ・(なし)・ホットビン・コールドビン           ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビン ふるいうけ試験密度は加助し、および、「コア密度」に使用されます。           客度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           客度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度         ・うた・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         ・「薬でのマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「単プののみ : 空隙率の可算は平均値のみ行います。           ・定酸率の計算は平均値のみ行います。         ・「紙」の一           コア厚本の計算は平均値のみ行います。         ・「紙」の一           コア原本の計算は目示したで、下記の主要素の計算は平均値のみにまた。         ・「紙」の一           コアの下の         空隙率の計算は平均値のみ行います。           コアを小数         現場管理の「可取っ空度」のヘッグ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度」の可能ます。			
<ul> <li>混合物コート</li> <li>混合物マスタに登録してある内容が表示されます。</li> <li>混合物マスタに登録してある政定が読み込まれます。</li> <li>選択すると、登録してある政定が読み込まれます。</li> <li>選択すると、登録してある政定が読み込まれます。</li> <li>読み込まれる対象は下記の欄です。</li> <li>・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数</li> <li>・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度</li> <li>・OACフロー値・デスファルト種類・アスファルト速度・アスファルト温度</li> <li>・混合物名</li> <li>推足名称</li> <li>使用する混合物名、補足名称を入力します。</li> <li>※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。</li> <li>混合物名</li> <li>証を追加する混合物名、補足名称を入力します。</li> <li>ホマルトビン</li> <li>ふるい分け試験種別</li> <li>・たいし、ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを運択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行り場合は、ホットビンまたはコールドビンを運択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>ふるい分け試験を行り場合は、ホットビンまたはコールドビンを運択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>・ない分け試験を行り場合は、ホットビンまたはコールドビンを運択します。</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビン</li> <li>・ない分け試験を行り場合は、ホットビンまたはつ</li> <li>・(なし)・ホットビン・コールドビンを運用します。</li> <li>生産変良ごを切取って変度」を切取って変度」に使用されます。</li> <li>密度の計算がと、見掛、ノギス法)</li> <li>・支範・から・見掛・ノギス法</li> <li>マーシャル計算方法</li> <li>平均のみ</li> <li>・空隙率の計算は単気値のみ行います。</li> <li>・空隙率の計算は単式を取りてある、かざ、見掛、ノギス法)</li> <li>・こと前の日本算びを受けます。</li> <li>・1番 ・2粘</li> <li>・1番 ・2桁</li> <li>コア酸ト工種</li> <li>現場管理の「ロンマ密度」のへッグ情報に表示されます。</li> <li>・1番 (コアと数してある内容が表示されます。</li> <li>・</li> <li>現場管理の「切取コア密度」のヘッグ情報に表示されます。</li> <li>規格値マスタに登録してある内容が表示されます。</li> </ul>			
取たした11番ヶん能も物石は、シハノなの様本が動けて使用されます。                盗根すると、登録してある肉容が表示されます。                選択すると、登録してある設定が読み込まれます。                遊択すると、登録してある設定が読み込まれます。                読み込まれる対象は下記の欄です。                 ・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数                 ・実施アスファルト量・理論密度、OAC密度・規格値・OAC安定度                 のACフロー値・アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度                 ・混合物名                 ・混合地名                 なんのとのに値・アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度                 ・混合地名                 ・混合地名                 に合した日があれます。                 ・混合地名                 のACフロー値・アスファルト種類 ・アスファルト密度                 に合しる                 アンスクを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。                 たなの自動した。                 アンスクシールドビン                 ・ならい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。                 ・などのうけます。                 などの一会                 「基準密度」「近畿を行う場合は、ホットビン・ホールドビンまたは、                 でしょの。                 「などの「しんないの」の」で密度」「なん、たいます」                 「などの「しっない」」なた、	混合物コート	低合物は取入3個、改止	じさより。 タけ シフテトの送々な場所で使用されます
混合物マスタに登録してある内容が表示されます。           選択すると、登録してある設定が読み込まれます。           読み込まれる対象は下記のの欄です。           ・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度・OACフロー値・アスファルト瘤度・アスファルト瘤度・アスファルト温度           ・混合物名           ・混合物名           たとの目印刷などに利用されます。           補足名称           使用する混合物名、補足名称を入力します。           ふるい分け試験種別           下記の3種類から選択します。           ・(なし)         ・ボッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行り場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン           ・ない分け試験を定してきないろいろの           「基準密度」に転送する場合は           ・ないうけます。           ・なり選びたりののの           ・なり、デスックの状態はなり、           ・家庭の           「などのの目的での、           ・シーレまから、           ・シーレまか           ・のとしり、           ・「などのの目的でのでのでのにののでのでしたり、           ・「「「「」」」           ・フェックをの目的でので		取足しに11番方と低日初2	石は、ノヘノムの様々な場所で使用されます。
選択すると、登録してある設定が読み込まれます。 読み込まれる対象は下記の欄です。 ・混合物名・粒度範囲・実施范皮・材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト ・実施アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度 ・混合温度 ・混合温度 ・マスクを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。混合物名 補足名称 ・使用する混合物名、補足名称を入力します。 ・ホッドビン・コールドビン ふるい分け試験種別下記の3種類から選択します。 ・パなし、ホットビン・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」のホットビン・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」のようドビン・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。 「なし」の水り合いまでを選択します。 「なし」の水り合いまである 「なし」かわい分けまた。 「なし」の水りたまたは「中心」とない分け試験を行う場合は、ホットビン・ホールドビン シーンドン・コールドビン 、ふるい分け試験を行う場合は、ホットビン・ホールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・ホールドビン 、ホットビン」 ・ホットビン・コールドビンを選択します。 「なし」の水り合います。 (なし) ホットビン・コールドビン 、本るい分け試験を行う場合は、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、ホットビン・コールドビン 、なも、チェックの状態は保持されません。   密度の計算方法を下記の4種類から選択します。 ・ま乾・かさ・見掛・ノギス法 マーシャル計算方法 、一密度 ・実際・の計算は生物値のみ行います。 ・ エアンクルを定します。 ・こりの 、「田型 ・こを取るの計算は生物値のみ行います。 ・ 、「田型 ・「田型 ・こを取るの計算は生物値のみ行います。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 第二のの目のます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ ・ 		混合物マスタに登録してお	ある内容が表示されます。
読み込まれる対象は下記の欄です。         ・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数 ・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度 ・OACフロー値・アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度            ・混合物名         ・アスファルト型、理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度 ・OACフロー値・アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度            北合温度         ・アスファルト運動・アスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度            ・混合物名         ・アスファルト運動・アスファルト運動・アスファルト温度            ・混合物名         使用する混合物名、補足名称を入力します。            をない分け試験種別         下記の3種類から選択します。            ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビン ・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホッドビン ・コールドビン            ・ない分け試験を行う場合は、ホッドビンまたはコールドビンを選択します。            「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。            「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。            「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。            「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。            「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。            「なし」の場合は従来の合成粒度支払ます。            ・「なし、ホェッレビン・            ・シンジーン            ・「なし、ホェッレビン・            ・シングを選択します。            ・シングル会での言いの一参をしまれ、            「基準密度」「近畿を定きのと、            「まで、            「「な」の「コンをご」「「な」の、            「「な」の、		選択すると、登録してある	設定が読み込まれます。
・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数           ・混合物名・粒度範囲・実施粒度・材料名・配合率・突固め回数           ・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度           OACフロー値・デスファルト種類・デスファルト温度           ・混合温度           ※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。           混合物名           植足名称           使用する混合物名、補足名称を入力します。           ふるい分け試験種別           下記の3種類から選択します。           ・(なし) ・ホットビン ・コールドビン           ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。           「なし」の場合は従来の合成粒度麦のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度麦のみのの理になります。           ・(なし) ・ホットビン ・コールドビン           ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。           「なし」の場合は従来の合成粒度麦のみのの理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみのの理になります。           ・ないういさいを取って密度試験の「基準密度」に転送する場合、           客食計算方法           「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           マーシャル計算方法           「整準           マーシャル計算方法           「整準の「コア密度」に変換を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法           「整準           「数準準の「コア密度」に使用されます。「厚よっ、           ・2客院率の計算は供試に体毎にまっ。           ロマシャル登録してありたり、シャルマターシャル安定度試験           マーシャル計算方法           「基準のの」の小グ密度」に使用されます。           コアを防率           マーシャル計算は供試に表示されます。           コアできい事           現場管理の「回知コア密度		読み込まれる対象は下記	の欄です。
・実施アスファルト量・理論密度・OAC密度・規格値・OAC安定度 ・OACフロー値・アスファルト種類・アスファルト密度・アスファルト温度 ・混合温度 ※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。           混合物名         Excel印刷などに利用されます。 使用する混合物名、補足名称を入力します。           赤るい分け試験種別         下記の3種類から選択します。 ・(なし) ・ホッドビン ・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取って密度試験の「基準密度」に転送する場 合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。 密度の計算方法を下記の4種類から選択します。 ・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準           マーシャル計算方法         標準           マーシャル計算方法         標準           マーシャル計算方法         「型           マーシャル計算方法         「型           マーシャル計算方法         「型           マーシャル計算方法         「型           マーシャル計算方法         「型           マーシャル計算方法         「単均のみ           マニシャル計算方法         「単均のみ           マニシャル計算方法         「「型           マニシャル計算方法         「「型           マニシャル計算方法         「「製物 空)」「空 隙率の計算は供試体毎に行います。 」 こり切り方の「「「」」」」」           コア厚本         現場管理の「「知知 空窓」」へッグ「情報に表示されます。           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッグ情報に表示されます。           コア設計算         現場管理の「切取コア密度」のヘッグ情報に表示されます。           現場管理」「「数」」」         「」           規場値回っの計算に使用されます。         「」           現場管理の「「のエア密度」のの計算にでいます。		•混合物名 •粒度範	囲 ・実施粒度 ・材料名 ・配合率 ・突固め回数
・・ハヘスファール・権類・アスファルト審選・アスファルト審選           ・混合温度           ・マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。           混合物名           捕足名称           使用する混合物名、補足名称を入力します。           ふるい分け試験種別           ・「記の3種類から選択します。 ・(なし) ・ホットビン ・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「ヘムC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場 合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。 密度の計算方法を下記の4種類から選択します。           マーシャル計算方法         標準           マーシャル計算方法         「型型           マーシャル計算方法         「工型           マーシャル計算方法         「工型           マーシャル計算方法         「工型           マーシャル計算方法         「「」型、真定マパック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「」「」」           「」」         二、空隙率の計算は使用されます。           コア厚本         現場管理の「コア密度」に使用されます。「「厚き」の小数桁数を変更できます。 既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。           ・1桁・2桁         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚き)の計算に使用されます。		・実施アスファルト量	・理論密度 ・OAC密度 ・規格値 ・OAC安定度
・混合温度           ※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。           混合物名           補足名称           使用する混合物名、補足名称を入力します。           ふるい分け試験種別           下記の3種類から選択します。           ・(なし)・ホットビン・コールドビン           ふるい分け試験種別           「たこの場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なり、ウォンドビンを選択します。           「なし」の場合は従来のうるれを支のみの処理になります。           「なし」の場合は従来のうるれを支のみの処理になります。           「なり、クを使うため」           「なお、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度申覧」近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           「ま葉 やかさ、見掛、ノギス法           マーシャル計算方法           「産業 * 標準のマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法           「日型         : 真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法           「日型         : 真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「日型           「は」が毎         : 空隙率の計算は単物値のみ行います。           「日型         : 真空パック密度」の小数作数を変更できます。           「日型         : 空隙率の「引いたます。		・OACフロー値・アン	スファルト種類 ・アスファルト密度 ・アスファルト温度
Reference         Reference           福足名称         Excel印刷などに利用されます。           ふるい分け試験種別         下記の3種類から選択します。           ・(なし)・ホットビン・コールドビン           ふるい分け試験種別           「記の3種類から選択します。           ・(なし)・ホットビン・コールドビン           ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なりの母さいをまたはコールドビンを選択します。           「なり、アナックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           マーシャル計算方法         「基準密度」「近畿密度計算力法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。           「工型         : 真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「空隙率の計算は平均値のみ行います。           「工型         : 真空パック密度」に使用されます。「厚き」の小数桁数を変更できます。           「大力 ・ 下記の2種類から選択します。         ・1桁・2桁           コアド         現場管理の「コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計算         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計算         現場管理の「切取コア密度」のへッダ情報に表示されます。           現格値ロード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。			こう カナス相人は空間では 進いさい
融合物名         Excention/#24(14)用34(13)。           補足名称         使用する混合物名、補足名称を入力します。           ふるい分け試験種別         下記の3種類から選択します。           ・(なし)         ・ホットビン           ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度の計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           マーシャル計算方法         「標準         :標準のマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「工型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「型         :真空パック密度と含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         「単約のみ         :空隙率の計算は平均値のみ行います。           「加のみ         :空隙率の計算は平均値のみ行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚き」の小数桁数を変更できます。           取定値は「「桁」です。下記の2種類から選択します。         ・1桁・2桁           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規構           四にして密度厚さ)の計算に使用されます。         現格値マスタに登録してある内容が表示されます。	泪众地友	※マベクを使用せり、生しる	と八刀りる場合は空欄でも悔いません。
補定名称         使用する油に利名、補定名称を入りします。           ふるい分け試験種別         下記の3種類から選択します。           ・(なし)         ・ホットビン           ふるい分け試験種別         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。         「なし」の人どりなります。           「なし」の人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの人どの	他 口 初 石	Excel印刷なくに利用され	なからなわれたす
ふるい分け試験種別         ・(なし) ・ホットビン ・コールドビン ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度の計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           マーシャル計算方法         ・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準           工型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         ※密度計算は平均値のみ行います。           正型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ           空隙率の計算は平均値のみ行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚む」の小数桁数を変更できます。           ア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		下記の2種類から選択しま	石 你を 八 刀 し よ り 。 = - 十
ふるい分け試験を行う場合は、ホットビンまたはコールドビンを選択します。 「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度の計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           マーシャル計算方法         ・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準           アシャル計算方法         標準           マーシャル計算方法         「工型           ・客度         ※密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。           II型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ           空隙率の計算は平均値のみ行います。         により切り着わります。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           コア厚さ小数         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値マスタに登録してある内容が表示されます。         第	ふるい分り武鞅裡別	「記の通知の思想」 (tril)	、9。 イー・コールドビン
「なし」の場合は従来の合成粒度表のみの処理になります。           基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度の計算方法を下記の4種類から選択します。         ・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準           一密度         :標準のマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         標準           ・商客度         :目型           「型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ           ・空隙率の計算は平均値のみ行います。           「工型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ           :空隙率の計算は平均値のみ行います。           「工型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ           :空隙率の計算は供試体毎に行います。           - 空隙率         供試体毎           :空隙率の計算は供試体毎に行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           ・1桁・2桁         ・1桁・2桁           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規模           海値(コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		ふろい分け試験を行う場合	◆け ホットビンすたけコールドビンを選択します
基準密度転送         当該混合物の「OAC密度」を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           密度計算方法         「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。           ・表乾・かさ・見掛・ノギス法         ・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準           - 密度         「星型ペック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         - 空隙率の計算は密の計算は平均値のみ行います。           - 空隙率         ・注空隙率の計算は平均値のみ行います。           マーシャル計算方法         - 空隙率の計算は供討体毎に行います。           マーシャル計算方法         - 空隙率の計算は使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           ア目型         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           ア目型         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コード)           規格値マスタに登録してある内容が表示されます。         第格値マスタに登録してある内容が表示されます。		「な」の場合は従来の合	成約度表のみの処理になります。
出中国使用之合、チェックを付けます。なお、チェックの状態は保持されません。密度計算方法「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。 密度の計算方法を下記の4種類から選択します。 ・表乾・かさ・見掛・ノギス法マーシャル計算方法 密度一密度マーシャル計算方法 ・密度標準 :標準のマーシャル安定度試験 により切り替わります。マーシャル計算方法 ・空隙率一空隙率ロージャル計算方法 ・空隙率の計算は平均値のみ行います。ロージャル計算方法 ・空隙率の計算は供試体毎に行います。コア厚さ小数現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。 既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。 ・1桁・2桁コア設計工種 コア設計工種現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。規格値コード規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	基進密度転送	当該混合物の「OAC密度	「を切取コア密度試験の「基準密度」に転送する場
密度計算方法       「基準密度」「近畿密度抽出」、および、「コア密度」に使用されます。         密度の計算方法を下記の4種類から選択します。       ・表乾・かさ・見掛・ノギス法         マーシャル計算方法       標準         一密度       「標準のマーシャル安定度試験         ※密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法)       により切り替わります。         「型       :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験         マーシャル計算方法       平均のみ       :空隙率の計算は平均値のみ行います。         一空隙率       ・空隙率の計算は供試体毎に行います。         コア厚さ小数       現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。         現場管理の「コア密度」のヘッダ情報に表示されます。       ・1桁・2桁         コア設計工種       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コード)         規格値コード       規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		合、チェックを付けます。な	お、チェックの状態は保持されません。
密度の計算方法を下記の4種類から選択します。 ・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法 一密度         標準         :標準のマーシャル安定度試験 ※ 密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。           II型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法 一空隙率         平均のみ         :空隙率の計算は平均値のみ行います。           マーシャル計算方法 一空隙率         平均のみ         :空隙率の計算は供試体毎に行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。         :1桁 ・2桁           コア設計厚         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	密度計算方法	「基準密度」「近畿密度抽	出」、および、「コア密度」に使用されます。
・表乾・かさ・見掛・ノギス法           マーシャル計算方法         標準         :標準のマーシャル安定度試験           一密度         ※密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。           II型         :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験           マーシャル計算方法         平均のみ         :空隙率の計算は平均値のみ行います。           一空隙率         供試体毎         :空隙率の計算は供試体毎に行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           ア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計厚         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		密度の計算方法を下記の	04種類から選択します。
マーシャル計算方法       標準       :標準のマーシャル安定度試験         一密度       ※密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。         II型       :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験         マーシャル計算方法       平均のみ       :空隙率の計算は平均値のみ行います。         一空隙率       供試体毎       :空隙率の計算は供試体毎に行います。         コア厚さ小数       現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。         ア設計工種       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。         コア設計厚       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。       -		<ul> <li>・表乾</li> <li>・かさ</li> <li>・見掛</li> </ul>	・ノギス法
一密度※密度計算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法) により切り替わります。II型:真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験マーシャル計算方法 一空隙率平均のみ (共試体毎 :空隙率の計算は供試体毎に行います。マア厚さ小数現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。 既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。 ・1桁・2桁コア設計工種現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。規格値コード規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	マーシャル計算方法	標準 :標準のマー	-シャル安定度試験
II型       :真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験         マーシャル計算方法       平均のみ       :空隙率の計算は平均値のみ行います。         一空隙率       供試体毎       :空隙率の計算は供試体毎に行います。         コア厚さ小数       現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。         既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。       ・1桁・2桁         コア設計工種       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	— 密度	※ 密度計	算は密度計算方法の(表乾、かさ、見掛、ノギス法)
II型:真空パック密度を含めたマーシャル安定度試験マーシャル計算方法 一 空隙率平均のみ ・空隙率の計算は平均値のみ行います。 (供試体毎 ・空隙率の計算は供試体毎に行います。)コア厚さ小数現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。 既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。 ・1桁・2桁コア設計工種現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。規格値コード規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		により切	の替わります。
マーシャル計算方法       平均のみ :空隙率の計算は平均値のみ行います。         一 空隙率       供試体毎 :空隙率の計算は供試体毎に行います。         コア厚さ小数       現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。         ア設計工種       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。         コア設計厚       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。         規格値コード       規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		Ⅱ型 :真空パック	密度を含めたマーシャル安定度試験
一空隙率         供試体毎         :空隙率の計算は供試体毎に行います。           コア厚さ小数         現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。           既定値は「1桁」です。         下記の2種類から選択します。           ・1桁・2桁         11桁・2桁           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。         11年、2桁           コア設計厚         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値マスタに登録してある内容が表示されます。         11年、2010年	マーシャル計算方法	平均のみ :空隙率の計	+算は平均値のみ行います。
コア厚さ小数       現場管理の「コア密度」に使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。         既定値は「1桁」です。下記の2種類から選択します。         ・1桁・2桁         コア設計工種       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。         コア設計厚       現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。         規格値コード       規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	一 空隙率	供試体毎 :空隙率の計	+算は供試体毎に行います。
・1         がってす。下記の2種類から選択します。         ・1         ・1         がってす。下記の2種類から選択します。         ・1         ・1         がってす。         ・1         がってす。         です。下記の2種類から選択します。         ・1         がってす。         です。         で記の2種類から選択します。         ・1         です。          です。         です。         です。         です。         です。          です。         です         です         です	コア厚さ小数	現場管理の「コア密度」に	使用されます。「厚さ」の小数桁数を変更できます。
・1桁・2桁           コア設計工種         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。           コア設計厚         現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。           規格値コード         規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		既定値は「1桁」です。下	「記の2種類から選択します。
コア設計工種     現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。       コア設計厚     現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。       規格値コード     規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		<ul> <li>1桁・2桁</li> </ul>	
コア設計厚現場管理の「切取コア密度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規 格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。規格値コード規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	コア設計工種	現場管理の「切取コア密慮	度」のヘッダ情報に表示されます。
格値(コア密度厚さ)の計算に使用されます。規格値コード規格値マスタに登録してある内容が表示されます。	コア設計厚	現場管理の「切取コア密度	度」のヘッダ情報に表示されます。また、管理図の規
規格値コード 規格値マスタに登録してある内容が表示されます。		格値(コア密度厚さ)の計算	に使用されます。
	規格値コード	規格値マスタに登録してお	ある内容が表示されます。
選択すると、登録してある規格値が読み込まれ、規格値タブが更新されます。		選択すると、登録してある	規格値が読み込まれ、規格値タブが更新されます。

#### ・ ③ページ設定(下段)

~~:	溜定 混合物	91 混	合物	h2	混合物3 混	合物4 混合	物5											
No.	混合物 コード		混	合物	名	補足名称	ふ話	るい分( 験種別	t N	基準密 度転送	部算	度 方法	マー	シャル E	 第5 空隙	法 S	17厚さ 小数	コア 設計工利
1	SAM-02 🗸 再:	生密粒	度フ	7ス	ファルト混合		ホット	ピン	~		かさ	$\sim$	標準	~ 平	均のみ	~ 1	桁~	]
2	SAM-07 〜 再	生密粒	度フ	マス	ファルト混合		コーノ	ルドビン	$\sim$		かさ	$\sim$	標準	~ 平	均のみ	~ 1	桁~	]
3	SAM-03 🗸 再:	生粗粒	度フ	7ス	ファルト混合		(なし	)	$\sim$		かさ	$\sim$	標準	~ 平	均のみ	~ 1	桁 ~	
4	~						(なし	)	$\sim$		かさ	$\sim$	標準	~ 平	均のみ	~ 1	桁~	
5	~						(なし	)	$\sim$		かさ	~	標準	~ 平	均のみ	$\sim$	桁~	
<																		>
								*	שר	)對厚	は管理	12(2	表示さ	れる規	格値の	計算	に利用	されます。
_																		
6	日常管理デー	タのコピ	-							×₹-	内括祭:	はなわ	TUSE	11 11 11 11 11 11 11	皆果れ	(約3)日本	で表示	さわます
											1000		i e o iare	277110	14050	184	Presson	C/110K 9 8
Mo			賃	行調		■th					山中日・			推完		- 200-4	5 E - E	
140.			X					靛度	촓	調報	翻	놟	541	歡	密度	ヨア 抽出	, 堤鳴 」 温度	現場 密度
1	2022/05/18	AN	+	-	1:再生密液度	アスファル	ЫV	М	М	M	1011		М		M	м		M
2	2022/05/19	AN	+	-	1:再生密粒度	アスファル	E.∨	M	M	M				П				
3	2022/05/18	AN	+	-	2:再生密粒度	アスファル	НV											
4	2022/05/20		+	-	2:再生密粒度	アスファル	ŀi∨											
5	2022/06/14		+	-	3:再生粗粒度	アスファル	ŀ											
6	2022/06/15		+	-	3:再生粗粒度	アスファル	N.∽											
		[	钪	追加	1													
_					_													

使用するページ行を追加し、 使用する報告書を決定します。 必要な際に随時、設定します。

#### [操作の流れ]

- 1. 「+」「ー」「行追加」ボタンを使用し、 必要なだけ「ページ」行を作成します。
- 2. 日付欄を使用し、ページ行の解り易い 目印を付けます。
- 3. 混合物欄から、混合物を選択します。
- 必要な報告書にチェックを付けます。
   チェックの付いている報告書を入力 できます。
- 5. ④混合物設定へ

[ページとは]

本システムにおける「ページ」は、特定日時の報告書のまとまりを指します。

1ページの中には、合成粒度、基準密度などの報告書をそれぞれ1枚ずつ入力できます。

上記の画面例では、「2022/05/18 AM」「2022/05/19 AM」といった1行が1ページとなり、6行のページが作成 されています。

#### [ページ設定]

項目	説明
「日常管理データ	現場管理の報告書を作成する際に使用します。
のコピー」ボタン	別の日常管理ファイルから、対応する日常管理データをコピーする際に使用します。
	使用方法の詳細は次項で説明します。
日付	ここに入力した日付は、チェックを付けた各報告書において、「試験日」欄の初期値と
	して使用されます。
	※初期値として設定するタイミングは、基本設定のOKボタンを押した時点です。
行挿入 [+]	[+]をクリックすると、クリックした行の上に新規ページ行を追加します。
行削除 [-]	[-]をクリックすると、クリックした行を削除します。
行追加 ボタン	「行追加」ボタンをクリックすると、最終行に新規ページ行を追加します。
混合物	入力したい混合物を選択します。
チェック欄	入力したい試験にチェックします。
	データが入力済みの場合、背景が緑色で表示されます。
	選択できない試験は背景が灰色で表示されます。
	※チェックが外れている未使用欄でも、値が入力済であれば緑色で表示されます。

#### • ④混合物設定

混合物	SAM-02 再4	密粒度アスコ	7ァルト混合物(1)	3)	-						
	粒度範囲	実施粒度	材料名	配合率		管	甲I百日	1	規格(	直 自主管	理値
53 (mm)	~	or can be had rate	1 3BIN	22.0			77	スファル	► ~	150 ~	160
37.5	~		2 2BIN	12.0	星	プラント		骨材	~	165~	185
31.5	~		3 IBIN	13.0	管;	ig jij	2	混合物	~	155~	175
26.5	~		4 石粉	3.0	理				~	~	
19	$100 \sim 100$	100.0	5 再生骨材	50.0	IB		5	出荷温度	~	155 ~	175
13.2	$95 \sim 100$	98.7	6		場	現場	23	訓着温度	~	155 ~	165
9.5	~		7		富;	<b>温度測</b> 版	Ēġ	的温度	~	150 ~	160
4.75	55~ 70	62.3	8		3 ±		7	加転温度	~	140 ~	150
2.36	35~ 50	41.8	合計	100.0							
1.18	~	07.7	突固め回数	50	OA	安定度		10.70	アスファルト	温度 155	~ 158
5UU(μm)	18 ~ 30	21.1	実施アスファルト量	5,80		ו)-חכנ		27	混合温	155	~ 160
100 150	10~ 21 R~ 16	18.2	理論家度	2 420		고비人通	≭ã ī≢	<u></u> 在777-1	R0-00		00
75	4~ 6	8.0	-1075FF	2.420		フリレール里	~*  †:	1 001	30 00		
73	4. U	0.0	UACENE	2.340	120	アルト留	Ξ.	1.031			
見格値											
			0								
		日常管理	É					現場!	管理		
管理	項目	日 常 管 増 規格値	: 自主管理	里値	管理	野項目		現場 見	管 理 格値	自主管理	里値
管理	項目	日 常 管 均 規格値 設計値 <sup>+</sup>	1 自主管理 設計備 <sup>+</sup>	里値	管理	<u>野項日</u> 締固	個々	現場 見	管理 格値 ~	自主管 <sup>3</sup> ~	里値
管理	項目 粒度 2.36mm	日 常 管 明 規格値 設計値 + -	e 自主管理 設計値 + -	里値	管理	<u>里項日</u> 締固 め度	個々 平均	現場 規	管理 格値 ~ ~	自主管 ~ ~	浬値
管理 合成粒度	項目 粒度 2.36mm	日常管理 規格値 設計値 - ~	e 自主管理 設計値 _ ~	里値	管理	<u>単項日</u> 綿固 め度	個々平均	現場 規 	管理 格値 ~ ~ +	自主管 ~ ~ 設計値 <sup>+</sup>	浬値
管理 合成粒度	項目 粒度 2.36mm 粒度	日常管理 規格値 設計値 + - 	自主管理 設計値 + - - - 	里値 	管: 17密度	<u>里項日</u> 締固 め度	個々 平均 個々	現場 規 設計値	管理 溶値 ~ ~ + -	自主管 ~ ~ 設計値 + -	浬値
管理 合成粒度	項目 粒度 2.36mm 粒度 75 <i>u</i> m	日常管理 規格値 設計値 + ~ 設計値 -	自主管理 設計値 + - 設計値 + 設計値 +	里值	管) 17密度 試験	<u>里項日</u> 綿固 め度	個々 平均 個々	現場 規 設計値	管理 溶値 ~ ~ + - ~	自主管理 ~~ ~ 設計値 + ~ ~	浬値
管理 含成粒度	項目 粒度 2.36mm 粒度 75 <i>μ</i> m	日常管理 規格値 設計値 + 20計値 + 20計値 -	自主管理 設計値 - 2 設計値 - 2 2 2 2 2 3 2 3 1 2 3 3 1 6 1 2 3 2 3 3 3 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	里値	管理 リア密度 試験	<u>単項日</u> 綿固 め度	個々 平均 個々	現場 規 設計値 設計値	宮理 溶値 ~ + - ~ + + - + - + -	自主管 ~ ~ 設計值 _ ~ 設計值 _	理値
管理 合成粒度 副準密度	項目 粒度 2.36mm 粒度 75μm	日常管理 規格値 設計値 + - 設計値 - - 設計値 - 設計値 -	e 自主管理 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 +	里値	管: 17密度 試験	<u>単項目</u> 締固 め度 厚さ	個 平 均 平 均	現場 規 設計値 設計値	宮理 谷値 ~ ~ + - ~ + - ~ ~	自主管 ~ ~ 設計値 + ~ 設計値 + - ~	里値
管理 合成粒度 影準密度 試験	項目 粒度 2.36mm 粒度 75µm 基準密度	日常管理 規格値 設計値 + 設計値 + 設計値 + - 設計値 + -	e 自主管理 設計值 + 設計值 + 設計值 + 記録計值 - 記録計值 -	里値	管3 17密度 試験	<u>単項目</u> 締固 め度 厚さ	個 平 均 平 均	現場 規 設計値 設計値	會理 溶値 ~ + - + + - + + +	自主管 ~ 設計値 + 2 設計値 + 2 設計値 + - ~	理値
管理 合成粒度 影準密度 試験	<sup>1項目</sup> 粒度 2.36mn 粒度 75µm 基準密度	日常管理 規格値 設計値 - 設計値 + 設計値 + 設計値 - 2021(# +	自主管理 記録計値 + 記録計値 - 記録計値 - 記録計値 - 記録計値 - 記録計値 - この この この この この この この この この この	里值 	管 17密度 試験	<u>単項目</u> 締固 の度 厚さ	個平 個 平 均 王 丁	現場, 規 , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	會理 溶値 ~ ~ + - ~ + - ~ + + -	自主管子 ~~ 設計値 + 設計値 + 設計値 + 2 設計値 +	里値
管理 合成粒度 影準密度 試験	項目 粒度 2.36mm 粒度 75gm 基準密度 2.96mm	日常管理 規格値 設計値 - 設計値 + 設計値 + 設計値 - 設計値 - 設計値 -	e 自主管理 該我計值 + 該我計值 該我計值 該我計值 +  該我計值 +          -		管1 17密度 試験	<u>単項目</u> 締固 助度 厚さ 粒 2.30	個々 平均 平均 夏mm	現場, 規 設計値 設計値 設計値	管理 理 格値 ~ ~ + ~ ~ + ~ ~ + ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	自主管 ~~ 設計値 - 設計値 + 設計値 + 設計値 + 2~	理値
管理 合成粒度 基準密度 試験	<u>項目</u> <u>粒度</u> 2.30mm <u>粒度</u> 75μm 基準密度 <u>粒度</u> 2.30mm	日常管理 規格値 設計値 - 設計値 - 設計値 + - 設計値 + - 設計値 + - 設計値 - - -	自主管理		官理	<u>単項目</u> 締固 助度 厚さ 2.30	個平 個 平 均 至 前 mm	現場, 規 設計値 設計値 設計値	管理 控 値 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自主管 ~~ 設計值 + 設計值 - 設計值 - 設計值 - 設計值 - ~	理値
管理 合成粒度 影準密度 試験	項目 粒度 2.30mm 粒度 75µm 基準密度 2.30mm	日常管理 現格値 設計値 - 。 設計値 - 。 設計値 - 。 設計値 + 。 。 設計値 + 。 。 設計値 + 。 。	自主管理 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 該計值 + 主要計值 + 主要計值 + 主要計值 + 主要計值 +		「空」で一般である。	<u>単項目</u> 締め度 厚さ 2.30 粒5	個平 個 平 寶mm 寶mm	現場, 規 設計値 設計値 設計値 設計値	管理 控 裕値 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自主管3 ~~~~ 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 + 2 設計値 + -	理値
管理 合成粒度 計築 (スファルト 由出試験	項目 <u>粒度</u> 2.36mm <u>粒度</u> 75 <i>u</i> m 基 準密度 2.36mm <u>粒度</u> 2.36mm	日常管理 現格値 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 + 設計値 + 設計値 +	自主管理           設計値           2           認知           2           2           3           4           3           4           3           4           3           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4           4<		「空」で一般の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	<u>単項目</u> 締固 め度 厚さ 2.30 粒 75	個平 個 平 夏mm 夏mm	現場, 規 設計値 設計値 設計値 設計値	管理 權 <sup>··································</sup>	自主管引 ~~~ 設計値 + 設計値 + _ 設計値 + _ 設計値 + _ 設計値 + _ ~ 設計値 - ~	里値
管理 合成粒度 計課院 2、ファルト 由出試験	項目 <u>粒度</u> 2.36mm <u>粒度</u> 75 <i>u</i> m 基準密度 2.36mm 粒度 2.36mm 粒度 75 <i>u</i> m	日常管理 現格値 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - :	自主管理 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 設計值 + 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		「「「「「「」」の一部で、「「」の一部で、「「」の一部で、「」の一語で、「」の一部で、「」の一語で、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の、「」の	<b> 東日</b> 締め度 厚さ 粒1 75, 75,	個平 個 平 實mm 實加 _	現場,現 規 設計値 設計値 設計値 設計値 設計値	管 裡 値 裕 ~ ~ + ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + - ~ + + - ~ + + - ~ + + + - ~ + + + - ~ + + + +	自主管引 ~~~ 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 + 設計値 + ジ計値 + ジ計値 +	里値
管理 合成粒度 基準密度 試験 73.77.1小 曲出試験	項目 <u>松度</u> 2.36mm <u>松度</u> 75μm 基準密度 <u>私度</u> 2.36mm <u>松度</u> 75μm	日常常格 現代値 設計値 設計値 設計値 設計値 - 設計値 - 設計値 - 設計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記 記 ·	自主管部     設計値 +     設計値 +     設計値 +     記録     記録		管理 コア密度 試験 コア抽出 試験	<b>里項目</b> 締固度 厚さ 2.30 粒万 アス	個平個 平 寬加 夏加 量	現場,規 規 設計値 設計値 設計値 設計値 設計値	管 裡 種 榕 ~ ~ +	自主管引 ~~~~~ 設計値 設計値 設計値 設計値 +- 記計値 +- 記計値 記計値	21111111111111111111111111111111111111
管理 合成粒度 基準密度 試験 7スファルト 曲出試験	項目 2.30mm 粒度 私定 る 地度 2.30mm 基準密度 2.30mm わ度 75,40m アス量	日 常 宮 君 値 現君 値 - 設計 値 - に に に の の の の の の の の の の の の の の の の	自主管理           該法十値           こ<		管理 コア密度 試験	<u>里項目</u> 締度 厚さ 2.30 アス	個平個 平 夏㎜ 夏㎜ 量 勿	現場, 規 規 設計値 設計値 設計値 設計値 設計値	管 稽 理 理 ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	自主管1 ~~~ 295计值 + - 295计值 - 205计值 + 295计值 - 205计值 - 205计值 - 205计值 - 205计值 - 2000 - 200	里位
管理 合成粒度 基準密度 試験	項目 粒度 2.30mm 税度 基準密度 2.30mm 基準密度 2.30mm 粒度 2.30mm 和度 2.30mm 和度 2.30mm 和度 2.30mm 和度 75 µm	日 第 管理 現若値 見計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 - 記計値 -	自主管理 設計値 + 設計値 + を設計値 + を設計値 + を設計値 + を設計値 + を設計値 + ・ を設計値 + ・ を設計値 + ・ を設計値 + ・ を設計値 + ・ を設計値 + ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	里値	です コア密度 試験 コア抽出 試験	<b>単項目</b> 締め 厚さ 粒 2.3% アス	個平個 平 度 重 個 平 女 切 々 均 々 均 々 り	現場,現 規 設計値 設計値 設計値 設計値	管 檐 理 	自主管1 ~~~ 295十值 + 895十值 - 205十值 + 895十值 + 895十值 + 895十值 + 895十值 + 895十值 + 895十值 - 2000 - 200	里位

#### 混合物の内容や、規格値の 設定を行います。

#### [操作の流れ]

- 1. 画面上段左は混合物欄です。 混合物の粒度、配合率、アス量などを 確認し、必要に応じて入力します。
- 2. 画面上段右は温度規格値欄です。
   日常管理と現場管理それぞれの規格
   値、自主管理値を入力します。
   ※未使用の場合は空欄のままにします。
- 画面下段は規格値欄です。
   各試験で使用する規格値、自主管理 値を必要に応じて入力します。
   ※未使用の場合は空欄のままにしま す。

項目	説明
粒度範囲·実施粒度	各試験で使用されます。
材料名	各々、混合物の情報を入力します。
突固め回数	
実施アスファルト量	
理論密度	
OAC密度	
OAC安定度	
OACフロー値	
アスファルト種類	
アスファルト密度	
アスファルト温度	範囲表示をしない場合、左側のみを入力します。
混合温度	
配合率	「合成粒度」に使用されます。
	配合率は、ページを追加・作成した際の初期値として使用されます。
	値を変更しても、既存データの配合率は変更されませんのでご注意ください。
	※初期値として設定するタイミングは、基本設定のOKボタンを押した時点です。
温度規格値	温度測定の規格値・自主管理値に利用されます。
(画面上段右)	
規格値	管理図の規格値・自主管理値に利用されます。
(画面下段)	

#### ■ 現場管理ファイルに対し、日常管理データファイルの内容をコピーする

現場管理の報告書を作成する際、対応する日の日常管理の試験結果を利用したい場合があります。 この場合、「日常管理データのコピー」を使用する事により、簡単に日常管理データを揃える事ができます。

🗈 日常管理データのコピー	をクリックすると、画面が起動します。
---------------	--------------------

日常管理データのコピー ×	
他の品質管理データファイルから日常管理データをコピーします。	① 同一フォルダ内の
	ファイル一覧です
№         分類名         グループ名         データファイル         ^           1         日常管理         00_日常管理         100_日常管理         100_日常         100_日常管理         100_日常管理         100_日常         100_100_100_100_100_100_100_100_100_100	読み込みたいファイルを 選択します。
4 日常管理 00-日常管理 100-3_1 円45-31 再生100-3_7 ルト混合物(13)	
5 日常管理 00_日常管理 H99.6_1~H99.6_30   冉生祖拉度アスファルト混合物(20) ∨	②①で選択したファイルに
No     日付     混合物     合成地度     基準定度     抽出試験     近畿     プラン       1     2022/05/01     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)            2     2022/05/02     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           3     2022/05/03     PM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           4     2022/05/04     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           5     2022/05/05     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           6     2022/05/05     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           7     2022/05/06     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           7     2022/05/07     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           9     2022/05/08     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           10     2022/05/18     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)           11     2022/05/11     AM     1     再生粗粒度アスファルト混合物(20)	<ul> <li>③ まれるページの一覧です。</li> <li>読み込みたい報告書に</li> <li>チェックを付けます。</li> <li>※チェックが可能なものは、</li> <li>使用している報告書のみ</li> <li>③ 基準密度データのコピー</li> <li>方法を設定します。</li> <li>既定値は「ページ単位」です。</li> </ul>
- 基準部度テータのコピーカ法の設定 ● ページ単位 「ページ単位」の場合は、チェックしたページの内容をそのままコピーします。	
<ul> <li>○ 先頭の4回 「先頭の4回」の場合は、チェックしたページの中から、データが存在する箇所の先頭4回分の 試験結果を1ページに統合してコピーはす。5回目以降のデータはコピーをれません。</li> <li>&gt; 選択したページの挿入位置の設定</li> <li>④ 未尾に挿入 ○ 先頭に挿入 ○ 挿入位置を指定</li> <li>挿入位置 6 行目に挿入</li> </ul>	④ コピーされたページの 挿入位置を設定します。
□ピー先の混合物の選択 混合物 1:再生粗粒度アスファルト混合物(20) ∨ OK キャンセル	5 ページのコピー先の混合物 を選択します。

OK をクリックすると、設定した内容でページ設定欄が更新されます。

「分類」は、次回の画面表示時も維持されます。

#### [注意]

現場管理データについてはコピーできません。 また、別フォルダのデータをコピーする事もできません。

#### ■ 品質管理データ編集画面の見かた、基本的な入力方法

品質管理データ編集画面は、試験結果データの入力や、報告書の印刷(Excel)を行うための画面です。 画面は、4つに分かれて構成されています。



①操作メニュー

データファイルに対して操作を行うためのメニューです。

人代表成本	
<b>一口风性没</b> 衣	5 閉じる
データフォルダ     SAMPLE     データファイル     K L M現場 密粒 13     分類・グループ     A     AB00株式会社	
😁 基本設定 🔒 保存 🧀 Excel 印刷	

項目	説明
データフォルダ	現在編集しているデータが表示されます。
データファイル	
分類・グループ	
	クリックすると、基本設定画面を表示します。
4 4 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5	クリックすると、入力した試験データを保存します。
	データファイル内の試験結果全ての最新内容を保存します。
🖾 Evcel EDGU	クリックすると、試験結果データをExcelに印刷(出力)するための設定画面を表示
	します。

#### ②試験選択メニュー

試験結果を入力したい試験種類を選択します。ボタンをクリックすると、選択したボタンの背景がオレンジで表示され、試験値の入力画面が切り替わります。

日常管理	基準密度 抽出試験	近畿 プラン 密度抽出 温度	` マ <i>−</i> シャル	推定 針入度	選択すると画面が
現場管理コア密度	コア抽出現場温度	現場密度	管理表	総括表	切り替わります。

項目	説明
日常管理	日常管理に関するメニューが表示されます。
	ページ設定で1つもチェックが付いていない様式は選択できません。
現場管理	現場管理に関するメニューが表示されます。
	ページ設定で1つもチェックが付いていない様式は選択できません。
	「総括表」については、常に表示されます。

#### ③ページ選択メニュー

ページを切り替えるためのメニューです。

各試験画面では1行に1ページが表示され、データ入力済みの欄が濃い緑色で表示されます。 管理表(図)画面では混合物と試験項目のボタンが並び、現在選択中のページが緑色で表示されます。 各ページ、または、ボタンをクリックすると、画面が選択した内容に切り替わります。 編集した内容はページを切り替えても破棄されずに残ります。





#### • ④試験値入力画面

実際の試験結果を入力する為の画面です。 試験値を入力すると、試験項目の計算が行われます。また、グラフが自動的に描画されます。

背景が白色の欄は、試験結果の値を入力します。

**背景が黄色**の欄は、計算結果を自動的に出力します。他の画面を参照している項目もこの色です。 **背景が灰色**の欄は、基本的に入力に使用しません。

背景が緑色の欄は、入力欄の種類を表します。データが入力済を表す場合もこの色です。





グラフ・図表は自動的に 描画されます。

#### ■ データ連動について

本システムでは、データファイル内において試験結果のデータ連動が行われます。 データ連動は、ある試験の計算結果を、関連する別の試験に自動設定される機能です。 またこの際、データの整合性を保つため、関連する試験結果の再計算が実行されます。 この機能は「基本設定」の一部に実装されています。

データ連動の画面間の影響は下表の通りです。

変更した画面	自動計算される画面
基本設定	基準密度 / 抽出試験 / 近畿密度抽出
[基準密度·抽出]欄変更	・様式が変わるため、密度欄全体を再計算します。
「密度計算方法]欄変更	・容積、密度が変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定	基準密度 / 近畿密度抽出
[混合物コード]欄変更	・空隙率が変わるため、密度欄全体を再計算します。
[理論密度]欄変更	
基本設定	切取コア密度
[コア厚さ小数]欄変更	・厚さが変わるため、密度欄全体を再計算します。
基本設定	基準密度 / 近畿密度抽出 / 切取コア密度
ページ欄の[混合物]変更	・容積、密度、厚さが変わるため、密度欄全体を再計算します。

#### ■ データの保存ついて

本システムでは、多くのページを使用します。

なんらかの理由でシステムが停止した際、入力したデータを損失しないよう、保存はこまめに行う事をおすすめ 致します。

# 13. 各試験結果入力画面の詳細

#### ■ 合成粒度試験

プラントの骨材粒度、配合率を入力します。





[ふるい分け試験入力画面]

特記爭項
------

項目	計算方法・入力内容など
材料名	基本設定で設定した材料名が表示されます。
配合率	値を入力すると、ふるい別配合率、合成粒度が計算されます。基本設定のふるい
骨材の粒度	分け試験種別が「ホットビン」または「コールドビン」に設定してある場合は、「ふるい
	分け試験入力」画面で入力します。
	基本設定の入力値は、ページの作成時にのみ自動設定される点にご注意ください。
ふるい別配合率	配合率と骨材の粒度から計算されます。
合成粒度	計算方法は、基本設定の「合成粒度計算種別」で設定した方法で計算します。
合計配合率	配合率の合計が表示されます。100.0%以外の場合、赤文字になります。
実施粒度	室内配合では、基本設定の値が表示されます。
	現場配合では、室内配合の合成粒度が表示されます。
粒度範囲	基本設定の入力値が表示されます。
粒度曲線図	自動で作図されます。
	粒度範囲が無い粒度は、点が打たれません。
「基本設定画面の	ボタンをクリックすると、基本設定画面に設定されている配合率を、現在表示して
配合率をコピー」	いるページの配合率にセットします。
ボタン	ふるい別配合率、合成粒度が自動計算されます。
「ふるい分け試験入力」	基本設定のふるい分け試験種別が「ホットビン」または「コールドビン」に設定して
ボタン	ある場合、使用可能になります。ボタンをクリックすると、「ふるい分け試験入力画
	面」が開きます。

#### ■ 基準密度試験

4点の行が用意されます。

明細No単位で平均を取る事ができますので、日付単位に平均を計算する事ができます。



#### [特記事項]

[1910子列]	
項目	計算方法・入力内容など
測定日	それぞれ試験結果を入力します。
締固め温度	
厚さ・直径・質量	
容積·密度	自動的に計算されます。
空隙率	
計算チェック	供試体欄の平均を取りたい場合にチェックを付けます。
	この欄のチェック有無により、基準密度の算出方法が変わります。
平均	「計算チェック」が付いている場合のみ、供試体の平均が計算されます。
	計算の対象は下記の通りです。
	・計算チェックが付いているNo欄自体
	・計算チェックが付いている欄より上にあり、かつ、計算チェックが付いていない欄
	・既に平均計算対象となっている欄は除く
基準密度	「計算チェック」が1つ以上ある場合 → ※平均欄の平均
	チェックが付いている「平均欄の値」の平均が計算されます。
	「計算チェック」が1つも無い場合 → ※供試体の平均
	入力されている「供試体欄全て」の平均です。
理論密度	基本設定の入力値が表示されます。
突固め回数	この欄に表示されている密度計算方法を使用します。
密度計算方法	
備考	改行は[Ctrl + Enter]で行います

#### [平均の取り方]

上の画面例では、No.2の行と、No.4の行に「計算チェック」が付いています。 この場合、No.2の平均欄は、①の範囲で供試体欄の平均が計算されています。 同様に、No4の平均欄は、②の範囲で供試体欄の平均が計算されています。 また、計算チェックがあるため、③=(①の平均+②の平均)÷2の結果となります。(※平均の平均)

#### ■ アスファルト抽出試験

抽出試験の結果を入力します。最大で3供試体の値を入力できます。

2022/05/18 AM														
		1 2 3 平均 実施 ***********************************								測定場所				
	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	残留試料	残留率	通過率	通過率	粒度	松波軍四田	混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)	
53 (mm)												~		
37.5												~		
26.5												~	試験者創風太郎	
19	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100 ~ 100		
13.2	27.0	2.7	97.3	27.4	2.7	97.3	23.5	2.3	97.7	97.4	98.7	95 ~ 100		
9.5												~		
4.75	354.6	35.2	64.8	359.5	35.5	64.5	353.0	35.0	65.0	64.8	62.3	55~ 70		
2.36	574.9	57.1	42.9	576.7	57.0	43.0	569.2	50.5	43.5	43.1	41.8		抽出試験方法 ソックスレー法	
600( <i>u</i> m)	770.1	76.5	23.5	774.4	76.5	23.5	773.1	76.7	23.3	23.4	25.3	18 ~ 30		
300	866.3	86.0	14.0	867.4	85.7	14.3	864.2	85.7	14.3	14.2	16.0	10~ 21	1 2 3	
150	903.7	89.7	10.3	904.2	89.3	10.7	901.2	89.4	10.6	10.5	9.6	6~ 16	① (試料+ろ紙)質量 1110.1 1114.3 110	19.9
75	954.9	94.8	5.2	961.9	95.0	5.0	953.2	94.6	5.4	5.2	6.9	4~ 8	② ろ 紙 質 量 37.9 38.0 3	7.8
												③ 試料質量 1072.2 1076.3 107	2.1	
100 -											<ul><li>④ (抽出後試料+ろ紙)質量</li><li>1045.2</li><li>1050.5</li><li>104</li></ul>	15.8		
100	ii	自调率	<u> </u>	<b>-</b>					1				⑤ 抽 出 骨 材 質 量 1007.3 1012.5 100	18.0
90		 E施粒度							1				⑥ アスファルト質量 64.9 63.8 6	i4.1
80	粒	腹範囲	]										⑦ 抽出アスファルト量 6.05 5.93 5	.98
8 70								1					平均值 5.99	
樹													実施アスファルト量 5.80	
尔 60								1						
ЮШ <sub>50</sub>								1	_					
1 <sup>9</sup> 30 -														
20									_					
10														
	_													
0	75	150	300	800.0	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	2 2	36 4	75	0.513	2 10 3	26 5 37	5.53(mm)		
	1.6 1.65 5.66 5.65(加)(1.6 2.66 年16 5.65(16)2.16 5.65 5.65(16)) みるい日 31.5													

画面項目	計算方法・入力方法などの説明
抽出試験方法	基本設定の入力値が表示されます。
試料質量	「(試料+〇〇)質量」「〇〇質量」から自動的に計算されます。
	どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
抽出骨材質量	「〇〇質量」「(抽出後試料+〇〇)質量」から自動的に計算されます。
	どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
実施粒度	基本設定の入力値が表示されます。
粒度範囲	
実施アスファルト量	
粒度曲線図	自動で作図されます。

#### ■ プラント日常管理試験成績書 (近畿様式)

基本設定で「基準密度・抽出」を近畿様式に設定すると使用可能になります。 内容は基準密度試験、抽出試験と同等です。



項目	計算方法・入力内容など
密度計算方法	基本設定の入力値が表示されます。
平均(基準密度)	入力されている全ての供試体欄の平均です。
粒度範囲	基本設定の入力値が表示されます。
配合設計の	基本設定の「実施アスファルト量」が表示されます。
アスファルト量	
配合設計 決定粒度	基本設定の「実施粒度」が表示されます。

#### ■ プラント温度測定

プラントの温度測定結果を入力します。

複数日付のデータを入力する事もできます。また、夜間出荷の場合は時刻を24時、25時…として入力すること もできます。

	2022/05/18 AM							▲ 温度管理図 (°C)
No.	測定日	時間	台	詏	アスファルト	骨材	混合物	
1	2022年06月01日 🗸 🕴	3:12			155	174	164	
2	2022年06月01日 🗸 🕴	3 : 25			154	175	165	原点 130
3	2022年06月01日 - 1	3:34			153	176	163	10 原間
4	2022年06月01日 🗸 🕴	3:41			155	173	162	
5	2022年06月01日 🗸 🕴	3:52			156	175	167	→ 727
6	2022年06月01日 🗸 !	9:00			157	176	166	→ 骨材
7	2022年06月01日 🗸 !	9:11			155	177	165	
8	2022年06月01日 ~ !	9:23			154	175	166	
9	2022年06月01日 🗸 !	9:31			156	174	164	
10	年月日~	:						
11	2022年06月02日 ~ 23	3 : 02			155	173	165	
12	2022年06月02日 ~ 23	3:10			156	176	166	
13	2022年06月02日 ~ 23	3:24			154	174	164	
14	2022年06月02日 ~ 23	3 : 38			153	175	165	
15	2022年06月02日 ~ 23	3:49			155	174	165	
16	2022年06月02日 ~ 23	3 : 58			156	175	165	
17	2022年06月02日 ~ 2-	4 : 00			155	174	166	
18	2022年06月02日 ~ 2-	4 : 08			156	175	167	
19	2022年06月02日 ~ 2-	4:18			154	176	168	
20	2022年06月02日 ~ 2-	4:28			153	175	165	
21	2022年06月02日 ~ 2-	4:35			155	174	166	
22	2022年06月02日 ~ 24	4:42			155	176	167	
23	年月日~	:						
24	年月日~	:						
	ĵ	則	定	数	21	21	21	□ へッダ情報
	3	Ŧ	均	値	155	175	165	測定場所
	ł	<b> </b>	大	値	157	177	168	混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)
	ł	<b> </b>	小	値	153	173	162	試験日 2022年06月01日 ∨
	;	涀	格	値	—	—	_	——————————————————————————————————————
	E	主自	管理	里値	150~160	165~185	155~175	-

#### [特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。
	上の画面では、「アスファルト」「骨材」「混合物」と表示されています。
時間/台数	基本設定で選択した様式の背景が白色になります。
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。
測定数·平均值	この画面の入力値から、それぞれの値が表示されます。
最大值·最小值	
規格値	基本設定の入力値が表示されます。
自主管理値	

#### [行挿入/行削除の仕方]

13	2022年	23	:	24	154		
14	2022年06月02日 🗸			:	38	153	
15	2022年06月02日 ~			:	49	155	
行挿	λ	38月82日 🗸	23	·	58	156	
行削	除	06月02日 ~	24	:	00	155	
18	2022年	06月02日 ~	24	:	08	156	

行挿入または行削除をする場合は、 対象行の行No.の部分をクリックします。 例:15行目に挿入(または削除)を行う場合は 「15」の上をクリックします。

※行挿入を行うと、末尾のデータが削除されますので ご注意ください。

#### ■ マーシャル安定度試験

マーシャル安定度試験の結果を入力します。

^^	必情報	l ——																
- ž	測定場所 アスファルト温度 155 ~ アスファルト種類 再生アスファルト 60-80																	
混	合物名	2 再生	主密粒度	度アスフ	アルト港	昆合物(1	3)		骨材温	腹	175 ~	· 📃	アスフ	ット密	度 1.	<mark>031</mark>		
	試験日	202	2年05月	320日 丶	~				混合温	渡	153 ~	, 🕅	力計	の係数		0.1	5	
	試験者	創月	虱 太郎	.β	_				突固め	昷度	140 ~	, 🖂					_	
									突固め	回数	50							
_	2022/	05/20	)															
供試	アス	厚	直	空田	水	表	容	密	理	アルスト	空	骨材	飽	力計	安	2	s	残留
体番	フル ア上	ħ	探	質量	質量	質量	括	宦	間密日使	フ容 ア積	隙率	間隙	和度	の 読	定度	山 山	F	安定
号	重	~ 	12.40	±	±	±	1.4		/52	举		举		み	5.07			度
1	標準 	6.30	10.16	1188.1	679.0	1189.5	510.5	2.327							5.67	33		
2	5.80	6.35	10.16	1190.9	677.3	1191.9	514.6	2.314							5.62	30		
3		6.29	10.16	1187.2	678.5	1188.2	509.7	2.329							5.88	32		
平	均							2.323	2.429	13.1	4.4	17.5	74.9		5.72	32	1788	
1	水浸	6.39	10.16	1199.8	683.3	1201.1	517.8	2.317							5.52	30		
2	5.80	6.35	10.16	1187.8	674.2	1188.8	514.6	2.308							5.91	30		
З		6.43	10.16	1203.8	683.6	1204.6	521.0	2.311							5.65	32		
平	均							2.312	2.429	13.0	4.8	17.8	73.0		5.69	31	1835	99.5
	_																	
備																		
考																		

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	「アスファルト種類」「アスファルト密度」「突固め回数」は基本設定の値が入力されます。
アスファルト量	基本設定の「実施アスファルト量」が表示されます。
厚さ・直径・質量	厚さ、直径、質量を入力します。
容積·密度	自動的に計算されます。
理論密度	基本設定の理論密度が表示されます。
アスファルト容積率	自動的に計算されます。
空隙率	基本設定の「空隙率計算方法」により、平均のみか、供試体毎が表示されます。
骨材間隙率	自動的に計算されます。
飽和度	
力計の読み	「力計の読み」を入力します。
安定度	「力計の係数×力計の読み」の計算結果を表示します。
	「力計の読み」が入力されていない場合、直接入力する事ができます。
フロー値	フロー値を入力します。
残留安定度	水浸の場合のみ計算されます。 「標準の安定度」と「水浸の安定度」が入力されている場合、自動計算します。

# ■ 再生骨材のアスファルト針入度推定試験

推定針入度試験の結果を入力します。

測定場所     突固め温度     140 ~ 146       混合物名     1     再生骨材     突固め回数     50											
試験日     2022年06月16日 >     最大密度     2.590       試験者     創風、花子     力計の係数       密度計算方法     見掛 >											
	2022/0	6/16									
供試体番号	パート町中	水中質量	表乾質量	容 積	密 度		選定 し密 た度	空隙率	力計の読み	安定度	推定針入度
1	1192.4	679.3		513.1	2.324		2.324	10.3		9.6	
2	1196.9	681.8		515.1	2.324	$\checkmark$	2.324	10.3		9.9	
3	1183.0	673.2		509.8	2.321						
4	1190.0	679.3		510.7	2.330						
5	1203.7	686.2		517.5	2.326		2.326	10.2		9.9	
平均 備 考							2.325	10.3		9.8	27

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	「突固め温度」「最大密度」を入力します。
	「突固め回数」は基本設定の値が入力されます。
	「試験者名」「力計の計数」「密度計算方法」は既定値設定で設定した値が入ります。
空中質量	それぞれの質量を入力します。
水中質量	
表乾質量	
容積·密度	自動的に計算されます。
選定した密度	密度測定した5つの供試体のうち、最大と最小を除いた残りの3つが自動で選択され
	ます。
力計の読み	「力計の読み」を入力します。
安定度	「力計の係数×力計の読み」の計算結果を表示します。
	「力計の読み」が入力されていない場合、直接入力する事ができます。
推定針入度	自動的に計算されます。

#### ■ 切取コア密度試験

切取コア密度試験の試験結果を入力します。コアラベルの印刷もここから行う事ができます。 基本設定から、標準様式/栃木様式/東北様式/中部様式 を切り替える事ができます。様式に不要な欄は背 景が灰色になります。

#### [標準様式][栃木様式][東北様式]

	以情報							_					
2.111日日の1月1日の1月1日日の1月1日の1月1日の1月1日の1月1日の1月1日の1月1日の1月1日日の月1日日日の月1日日の月1日日日日の月1日日日の月1日日日の月1日日日の月1日日日の月1日日日日日日日日	定場所	県道00%	泉						■会言	舗装工	₫表層	E	
混	合物名 <mark>2</mark>	再生密精	立度アス	、ファル	ト混合物	ŋ(13)			設	計舗装厚	Ŧ	5.0	
	試験日	2022年0	5月20日	$\sim$	_				麦	<b>毕</b> 密度	2	.380	
	試験者	創風 フ	大郎						Ŧ	1輪密度	2	. 429	
🦪 コアラベル印刷									密度	創計算方法	ま <mark>かさ</mark>		
2022/05/20			ner sv										^
			序 さ			直	留	小中	表	晉	Ŧ	禘	松市
NO. 試験日					平均		質量	質量	質量	赭	度	した	個安
1 / / VN1 (1TX)	6.4	6.4	6.3	6.4	6.4	122	1227.6	710.4	1229.3	518.9	2.366	99.4	
2 / / ~ No.2 (2IX)	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4		1229.7	712.4	1231.3	518.9	2.370	99.6	
3 / / ∨ No.3 (3±⊠)	6.3	6.3	6.2	6.3	6.3		1191.3	681.0	1191.3	510.3	2.335	98.1	
4 東北様式の場合、現場代理人欄となり	ます。												
	0.,0												
							_						
	-												
13 / / ~	_												
14 / / 🗸													
15 / / 🗸													
16 / / 🖂													
17 / / 🗸													
							_						
		317				_					0.053	00.0	¥
	-	Ť	ارد <del>ر</del>		6.4						2.357	99.0	
備													
考													

項目	計算方法・入力内容など
🖪 コアラベル印刷	コアラベル印刷の画面を起動します。
	コアラベル印刷画面の使用方法は、次項で説明します。
設計舗装工種	基本設定のコア設計工種が表示されます。
設計舗装厚	基本設定のコア設計厚が表示されます。
基準密度	基本設定のOAC密度が既定値として表示されます。
	締固め度を計算するには、基準密度が入力されている必要があります。
理論密度	基本設定の入力値が表示されます。
密度計算方法	
厚さ 1~4	厚さ1~4が未入力の場合、厚さ平均を直接入力できます。
厚さ平均	小数桁数は、基本設定で設定した「コア厚さ小数」の桁数になります。
	厚さ平均の端数処理は環境設定画面の設定値によります。なお、平均行の厚さも同
	様の端数処理が適用されます。
計算チェック	画面に表示されている供試体の平均値を計算したい場合、チェックを付けます。
	厚さ平均、密度、締固め度の平均が計算されます。
備考	[Ctrl + Enter]で改行できます。

#### [中部様式]



項目	計算方法・入力内容など
🖪 אדי אדי	コアラベル印刷の画面を起動します。
	コアラベル印刷画面の使用方法は、次項で説明します。
様式 38-1 画面	様式 38-1 の入力画面を起動します。
	入力した内容が様式38-1の帳票に出力されます。
設計舗装工種	基本設定のコア設計工種が表示されます。
設計舗装厚	基本設定のコア設計厚が表示されます。
基準密度	基本設定のOAC密度が既定値として表示されます。
	締固め度を計算するには、基準密度が入力されている必要があります。
設計舗装厚	試験に必要な値を入力します。
(表層~全厚)	
理論密度	基本設定の入力値が表示されます。
密度計算方法	
厚さ 1~4	厚さ1~4が未入力の場合、厚さ平均を直接入力できます。
厚さ平均	小数桁数は、基本設定で設定した「コア厚さ小数」の桁数になります。
	厚さ平均の端数処理は環境設定画面の設定値によります。なお、平均行の厚さも
	同様の端数処理が適用されます。
全厚	厚さの平均が代入されます。
	全厚(背景オレンジの欄)は手入力で変更する事ができます。ただし、基本設定
	や厚さを修正すると再計算されるため、再度設定し直す必要があります。
計算チェック	画面に表示されている供試体の平均値を計算したい場合、チェックを付けます。
	厚さ平均、密度、締固め度、全厚の平均が計算されます。
備考	[Ctrl + Enter]で改行できます。

#### 報告書の作成

#### ■ コアラベル印刷

この画面は、切取コア密度試験の画面から コアラベル印刷 をクリックする事で起動します。 入力済みの試験結果から設定、または、直接入力して内容を作成する事が出来ます。

ヘッダ情報は、 基本設定画面の値コピー をクリックすると、以下の情報が読み込まれます。 「工事名」「施工者」 … 基本設定画面の情報が読み込まれます。 「測定場所」「試験日」 … 現在のコア密度試験のヘッダ情報が読み込まれます。

Excel出カ ボタンをクリックすると、入力した内容がExcelに出力されます。



・ ①混合物の選択

コアラベル印刷を行うデータの設定							
	工種名		混合物名	設計厚	コア厚さ小数		
工種 1	参照》	表層工	密粒度アスコン(13)	6.3	1桁 🔻	]	
工種 2	参照》	基層工	粗粒度アスコン(20)	6.3	1桁 🔻	]	
工種 3	参照》	路盤	アスファルト安定処理	6.3	1桁 🔻		
合計				18.9		T	
※現在表示中のコア密度試験結果を読み込むには「≫」ボタンをクリックします。							
※他	のデータのコフ	~密度試験	結果を読み込むには「参照」ボタンをクリックします。				

「印刷するコアの選択」欄の 厚さ小数桁数を変更できます。 平均値の小数桁数は、より 大きい桁数になります。

をクリックすると、現在編集中のページ内容を設定します。

参照 をクリックすると、読み込み対象ページを 選択する画面が起動します。(右参照) 読み込みたいページを選択すると、その行に 当該ページの内容が設定されます。

参照をクリックした際、現在編集中のページが 選択された状態で画面が起動します。

するデータの か グループ A 分類名 A	選択 01_A80株式会社 グループ名	×		
<ul> <li>・ グループ 区</li> <li>分開名</li> <li>A</li> </ul>	▼01_ABC株式会社 グループ名			
分類名 A	グループ名	and the second		
A				
A	01_ABC株式会社	0000工事 密粒20	2022/05/20 1 再生粗粒度アスファルト混合	物(20)
	01_ABC株式会社	○○○○工事 密粒20	2022/05/20 2 再生密粒度アスファルト混合	物(13)
A	01_ABC株式会社	KLM現場 粗粒 13	2022/05/20 1 再生粗粒度アスファルト混合	物(20)
A	01_ABC株式会社	KLM現場 粗粒 13	2022/05/20 2 再生密粒度アスファルト混合	物(13)
A	01_ABC株式会社	KLM現場 密粒 13	2022/05/18 AM 1 再生粗粒度アスファルト混合	物(20)
A	B1_ABC株式会社	KLM現場 密粒 13	2022/05/20 1 再生粗粒度アスファルト混合	物(20)
A	01_ABC株式会社	KLM現場 密粒 13	2022/05/20 2 再生密粒度アスファルト混合	物(13)

②コアの選択

EPJ	りするコア	の選択												
No	印刷	供試 体No.			測	点		2	厚 さ 3	4	平均	密度	締固め 度	^
			工種1	No.LOO1			6.4	6.3	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8	
		1	工種2	No.LOO1			6.4	6.4	6.4	6.3	6.4	2.329	99.8	
			工種 3	No.LOO1			6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	2.329	99.8	
			合計				19.2	19.1	19.2	19.0	19.2			
	チェッ 出力求	クした す象とフ	箇所のなります	)み す。	灰色の林 出力され	闌は ιません。	(	Dで選 小数桁	択した数です	+.				

#### •③印刷設定



コアラベルの枠線チェックと印刷対象項目は、 設定内容が次回画面表示時も維持されます。

#### •出力結果(Excel)



#### ■ 切取コア抽出試験

切取コア抽出試験の試験結果を入力します。 使用方法はプラント抽出試験と同一です。



画面項目	計算方法・入力方法などの説明
抽出試験方法	基本設定の入力値が表示されます。
試料質量	「(試料+〇〇)質量」「〇〇質量」から自動的に計算されます。
	どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
抽出骨材質量	「〇〇質量」「(抽出後試料+〇〇)質量」から自動的に計算されます。
	どちらかの値が入力されていない場合、手入力する事ができます。
実施粒度	基本設定の入力値が表示されます。
粒度範囲	
実施アスファルト量	
粒度曲線図	自動で作図されます。

#### ■ 現場温度測定

現場の温度測定結果を入力します。使用方法はプラント温度測定と同じです。 複数日付のデータを入力する事もできます。また、夜間出荷の場合は、時刻を24時、25時…として入力することもできます。

	2022/05/18 AM							温度管理図(℃)
No.	測定日	時間	台数	出荷温度	到着温度	敷均温度	初転温度	110 120 130 140 150 160 170 180 190
1	2022年06月01日 🗸	:	1台目	164	161	158	148	┃
2	2022年06月01日 🗸	:	2台目	165	162	157	149	
З	2022年06月01日 🗸	:	3台目	166	163	158	147	↓ ◇● 間源 10
4	2022年06月01日 🗸	:	4台目	165	162	158	147	
5	2022年06月01日 🗸	:	5台目	165	162	157	146	
6	2022年06月01日 🗸	:	6台目	164	161	157	1 48	
7	2022年06月01日 🗸	:	7台目	166	162	159	149	
8	年月日~	:						
9	年月日~	:						
10	年月日~	:						
11	年月日~	:						
12	年月日~	:						
13	年月日~	:						
14	年月日~	:						
15	年月日~	:						
16	年月日~	:						
17	年月日~	:						
18	年月日~	:						
19	年月日~	:						
20	年月日~	:						
21	年月日~	:						
22	年月日~	:						
23	年月日~	:						
24	年月日~	:						
		測	定 数	7	7	7	7	へッダ情報
		Ŧ	均值	165	162	158	1 48	測定場所 県道00線
		最	大 値	166	163	159	149	混合物名 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)
		最	小値	164	161	157	146	試験日 2022年06月01日 ✓
		規	格値	—	-	-	-	試験者創風、太郎
		自主	管 理 値	155~175	155~165	150~160	140~150	

項目	計算方法・入力内容など
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。
	上の画面では、「出荷温度」「到着温度」「敷均温度」「初転温度」と表示されています。
時間/台数	基本設定で選択した様式の背景が白色になります。
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。
測定数·平均值	この画面の入力値から、それぞれの値が表示されます。
最大值·最小值	
規格値	基本設定の入力値が表示されます。
自主管理値	

#### ■ 現場密度試験

砂置換法による路盤の密度試験結果を入力します。 入力の補助として路盤締固めマスタを使用する事ができます。

			ل 2	
	路盤締固めマスタコード	R01 🗸	$\sim$	$\sim$
	路盤締固めマスタ名称	路盤 1		
	試 料 番 号	1		
	試験前(砂+容器)質量	4002.7		
0	試験後(砂+容器)質量	855.4		
3	ベースプレート中の砂の質量	1441.9		
٩	穴につめた 砂の 質量	1705.4		
\$	砂の単位体積質量	1.360		
6	穴 の 容 積	1254.0		
Ø	(湿潤土+容器)質量	3131.0		
8	⑦の容器質量	50.2		
9	湿潤土質量	3080.8		
$^{\odot}$	湿潤密度	2.457		
$\mathbb{O}$	(乾燥土+容器)質量	3001.3		
Ø	①の容器質量	50.2		
3	乾燥土質量	2951.1		
∅	乾燥密度	2.353		
\$	水の質量	129.7		
6	含水 比	4.39		
$\mathbb{O}$	最 大 乾 燥 密 度	2.475		
8	締固め度	95.1		
	平 均 値	□計算→		
	穴の直径	10.3		
	穴の深さ	14.5		

□ ヘッダ情報
測定場所 県道00線
路盤種類 2 再生密粒度アスファルト混合物(13)
試験日 2022年05月20日 ~
試験者 <mark>創風</mark> 太郎
┌ 測点 ────
1 列目 No.1 (1工区)
2列目
3列目

1	
	「おう車店」

「行の手巧」	
項目	計算方法・入力内容など
測点	1列目が試験結果入力欄の1列目に対応します。2、3列目も同様です。
路盤締固め	路盤締固めマスタを使用する場合、利用するマスタを選択します。
マスタコード	「試験前(砂+容器)質量」「ベースプレート中の砂の質量」「砂の単位体積質量」
	「⑦の容器質量」「⑪の容器質量」「最大乾燥密度」が入力されます。
	※マスタを使用せず、全てを入力する場合は空欄でも構いません。
⑦の容器質量	「⑦の容器質量」を入力すると、「⑪の容器質量」に同じ値が入力されます。
⑪の容器質量	「⑪の容器質量」を入力した場合は、値のコピーは行われません。
	異なる値を入力したい場合、「⑦の容器質量」→「⑪の容器質量」の順に入力します。
湿潤土質量	「(湿潤土+容器)質量」「⑦の容器質量」から計算されます。
	どちらも入力されていない場合、直接入力できます。
乾燥土質量	「(乾燥土+容器)質量」「⑪の容器質量」から計算されます。
	どちらも入力されていない場合、直接入力できます。
平均值	「計算チェック」を付けると、この画面の平均値が計算されます。
備考	「Ctrl+Enter」で改行します。

#### ■ 管理表·管理図

管理表・管理図は、入力した全てのページ情報を基にして混合物ごとに管理図が作成されます。 この画面で表示される測定数、平均・最大・最小値は、全てのページ情報の基になります。 管理表のスクロールバーを操作すると、管理図も同じ範囲を描画するようにスクロールします。

#### [管理表·管理図(抽出試験)]

ページ選択	混合物1 混合物2 混合物3			粒度 2.36mm
合成粒度	混合物名 1 密粒度アスコン(13)			
其淮家庄	抽出試験 管理表		<u>^</u>	
经计正成	No. 日付	粒度 2.36mm  粒度 75μm	アスファルト量	45
抽出試験	1 2022年07月02日	43.1 5.3	6.03	
コア密度	2 2022年07月02日	43.2 5.5	6.05	30
	3 2022年07月03日	43.3 5.4	6.08	20
コア抽出	4 2022年07月04日	43.3 5.4	5.92	
現場密度	5 2022年07月05日	43.3 5.3	5.95	びラフ目盛 原点 15 間隔 5 一規格値
	6 2022年07月06日	43.4 5.1	5.97	
	7 2022年07月07日	43.4 5.5	6.02	粒度 75µm
	8 2022年07月08日 0 0000年03月00日	43.5 5.4	6.08	20
	9 2022年07月09日 10 2022年07月12日	43.2 5.4	0.00	16
	10 2022年07月12日	40.1 0.1	5.04	
	12 2022年07月13日	43.1 5.2	5.02	
	13 2022年07月15日	43.2 5.4	6.00	
	14 2022年07月16日	43.1 5.2	6.03	4
	15 2022年07月17日	43.4 5.4	5.99	
	16 2022年07月18日	43.1 5.0	6.10	ガラコ日成 原占 0 問題 2 一規 格 値
	17 2022年07月19日	43.2 5.5	5.91	
	18 2022年07月20日	43.3 5.1	6.10	アスファルト量
	19 2022年07月21日	43.1 5.4	6.03	7.5
	20 2022年07月22日	43.2 5.4	5.96	6.9
	測 定 数	28 28	28	6.6
	平 均 値	43.2 5.3	6.00	
	最大 値	43.5 5.5	6.10	5.7
	最小值	43.0 5.0	5.91	5.1
	規格値	30.5~ 54.5 1.0~ 11.0	5.10~ 6.90	4.5 4.5 1 3 5 7 9 11 13 15 17 <u>19 21 23 25</u>
	自主管理値	36.5~ 48.5 3.5~ 8.5	5.55~ 6.45	びつつ目盛 原点 4.5 間隔 0.3 一規格値 自主管理

#### [特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測定数·平均值	データファイル(全てのページ)を対象に算出します。
最大值·最小值	
規格値	基本設定の入力値が表示されます。
自主管理値	
グラフ目盛	グラフの原点、間隔を入力すると、グラフの描画範囲を変更する事ができます。

#### [管理表(図)の表示単位]

項目	計算方法・入力内容など
合成粒度	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
基準密度	1ページの平均値(基準密度欄)が、管理表(図)の1行と対応します。
アスファルト抽出試験	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
切取コア密度試験	個々の供試体欄が、管理表(図)の1行と対応します。 コア密度画面の平均欄は使用されません。
切取コア抽出試験	1ページの試験結果が、管理表(図)の1行と対応します。
現場密度試験	個々の供試体欄が、管理表(図)の1行と対応します。 現場密度画面の平均欄は使用されません。

#### ■ 総括表

総括表は、入力した全てのページ情報を基にして混合物ごとに作成されます。 この画面で表示される測定数、平均・最大・最小値は、全てのページ情報を基に作成されます。 試験結果の抽出方法(測定数)は、管理図と同じです。

ページ選択	混合	<b>物1</b> 混合物2	混合物3						
総括表	混合特	混合物名 1 密粒度アスコン(13)							
		総括表							
		管理項	8	測定数	平均值	最大値	最小値	規格値	自主管理値
		人式特点	粒度 2.36mm	5	41.6	42.7	37.3	30.5~ 54.5	36.5~ 48.5
		百九州山支	粒度 75µm	5	7.2	11.0	6.2	1.0~ 11.0	3.5~ 8.5
		基準密度試験	基準密度	5	2.379	2.380	2.378		2.228~ 2.528
			粒度 2.36mm	28	43.2	43.5	43.0	30.5~ 54.5	36.5~ 48.5
	「」」	アスファルト 抽出試験	粒度 75µm	28	5.3	5.5	5.0	1.0~ 11.0	3.5~ 8.5
	管理	THE HOUSE	アスファルト量	28	6.00	6.10	5.91	5.10~ 6.90	5.55~ 6.45
	11		アスファルト	17	150	151	149		150~160
		プラント温度測定	骨材	17	170	172	169	—	165~185
			混合物	17	160	162	159	<del></del>	155~175
				11	155	156	154	—	
		切取コア密度試験	締固め度	15	98.6	99.2	98.1	平均96.0~111.0	平均97.5~112.0
			厚さ	15	6.3	6.4	6.2	-	-
			粒度 2.36mm	5	43.2	43.4	43.0	34.5~ 50.5	38.5~ 46.5
	現	現切取コア抽出試験	粒度 75µm	5	5.2	5.3	5.0	2.5~ 9.5	4.0~ 8.0
	場		アスファルト量	5	6.89	6.97	6.81	5.45~ 6.55	5.70~ 6.30
	瑆	理現場温度測定	出荷温度	15	165	166	164	—	155~175
			到着温度	15	160	161	158	-	160~170
			敷均温度	15	155	156	153	<del></del> .	150~160
			初転温度	15	145	146	143	—	140~150
		現場密度試験	締固め度	10	98.6	98.9	98.1	平均96.0~113.0	平均97.5~114.0

#### [特記事項]

項目	計算方法・入力内容など
測定数·平均值	データファイル(全てのページ)を対象に算出します。
最大值·最小值	
規格値	基本設定の入力値が表示されます。
自主管理値	
温度項目の見出	環境設定で入力した項目名が使用されます。
	※「プラント温度測定」「現場温度測定」の名称

#### [総括表の表示単位]

項目	計算方法・入力内容など
合成粒度	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
基準密度試験	1ページの平均値(基準密度欄)を、1測定数として計算します。
アスファルト抽出試験	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
プラント温度測定	個々の温度測定結果を、1測定数として計算します。
切取コア密度試験	個々の供試体欄を、1測定数として計算します。
切取コア抽出試験	1ページの試験結果を、1測定数として計算します。
現場温度測定	個々の温度測定結果を、1測定数として計算します。
現場密度試験	個々の供試体欄を、1測定数として計算します。

# ¶4. 報告書の印刷

#### ■ 品質管理試験報告書を印刷する

報告書を印刷する場合、 **Excel 印刷** ボタンをクリックすると、Excel印刷画面が表示されます。 選択可能な帳票は、基本設定画面のページ欄で使用している帳票のみ、出力できます。

バックデータと管理図がひとつのExcelファイルに出力されます。

ボタン	効果
全ての帳票を選択	出力可能な帳票全てを自動的に選択します。
全ての選択を解除	全ての帳票からチェックを外します。

Excel 印刷画面	
Coteの時間       Coteの時間       Coteの時間を選択       全ての境間を選択       全ての境間を選択       全ての境間を調整         地       定合物       品質管理       日常管理       日常管理       現場管理         1       四世名的地区       2       2       2         2       四世名の地区       2       2       2         3       3       3       3       3       3         4       4       5       1       1       1         5       1	出力したいページに チェックします
Excel 出力 開心る	#11995/UH991981.vv2///////////////////////////////////
Excel 出力 ボタンをクリックすると、Excelファイル 出力先選択画面が表示されますので、出力先を選択し、 「保存」ボタンをクリックします。 ※デフォルトの出力先は環境設定で変更する事ができます。	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $

Excelの出力先は、「データフォルダ名」のフォルダが作られ、 さらにその中に「分類名」のフォルダ、その中に「グループ名」の フォルダが作られます。この分類名フォルダの中にExcelファイル が出力されます。

なお、分類名/グループ名を空に設定した場合、そのフォルダは 作られません。

#### [注意]

多くのページデータを一度に出力する(例:50ページ全て選択)と、 Excel出力が遅くなり終わらない場合があります。

この場合、10ページ程度ずつ小分けにして出力すると、状況が改善する場合があります。



# §4. データフォルダの管理

## ¶1. データフォルダを管理する

#### ■ データフォルダとは

データフォルダは、本システムのデータ管理単位です。混合物マスタ、規格値マスタ、路盤締固めマスタ、 データファイルが含まれます。本システムのデータフォルダはWindowsのフォルダとは異なりますが、各データ を入れる箱の概念は同じです。

本システムでは、選択しているデータフォルダのみを対象にデータを操作します。 現在選択しているデータフォルダは、メイン画面の左上に表示されます。

品質管理報告書作成システム Ver.4.0		
データフォルダ H25		現在選択しているフォルダです。
🎦 新規作成 🛛 🕞 複写新規 🛛 🖉 編集 🕢 半削除	■最新表示	

メイン画面から **データフォルダの管理** をクリックすると、データフォルダの管理画面が開きます。 操作したい内容をメニューから選択すると、画面が切り替わりますので、必要な内容を入力します。

データフォルダの管理	
操作モード選択 処理フォルダ切替 フォルダ新規作成 フォルダ名の編集 フォルダの削除	フォルダの管理メニューです。
フォルダー覧から切り替えるフォルダを選択してください。	
№         F-5/7J/Ø           1         データフォルダ	現在作成されているフォルダの 一覧が表示されます。
2 半成24年度用① 3 平成24年度用②	
4 平成25年度用①	
5 十m2 5 年度用 <i>©</i>	
OK ++>zelb	

項目	説明
処理フォルダ切替	メイン画面で使用している、現在のデータフォルダを変更する際に使用します。
フォルダ新規作成	新しくフォルダを作成する際に使用します。 既存フォルダからマスタやデータファイルをコピーする事ができます。
フォルダ名の編集	既存のフォルダ名を変更する際に使用します。
フォルダの削除	既存のフォルダを削除する際に使用します。 フォルダに格納されているマスタやデータも全て削除されます。

#### ■ データフォルダの選択

テータフォルダの管理	フォルダの一覧から切り歩き対象の
1     データフォルダ       2     平成24年度用①       3     平成24年度用②       4     平成25年度用②       5     平成25年度用②	データフォルダを選択します。
	「OK」ボタンをクリックすると、選択した データフォルダに切り萃わります
СК ++vz#	

#### ■ データフォルダの新規作成



項目	説明
新規作成	空のフォルダを作成します。
既存フォルダから	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタを全てコピーして作成します。
マスタをコピーして作成	同じマスタを使用する場合に指定します。
既存フォルダから	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタ、および、全てのデータ
マスタとデータを	ファイルをコピーして作成します。
コピーして作成	

#### ■ フォルダの名称変更

第1日 - 小説       201/05 201/05 201/05 (201/05	データフォルダの管理	0
アータフォルダ       アボク2 4年度用0         1 データフォルダ       アボク2 4年度用0         2 平成2 4年度用0       アボク2 4年度用0         3 平成2 5年度用0       アボク2 5年度用0         5 平成2 5年度用0       アボク2 5年度用0         7 下成2 5年度用0       アボク2 5年度用0         7 下成2 5年度用0       アボク2 5年度日0         7 下成2 5年度日0       アボク2 5年度日0         7 下成2 5年度日1       アボク2 5年度日0         7 下成2 5年度日1       アボク2 5年度日0         7 下成2 5年度日1       アボグク2 5年度日0         7 市成2 5年度日1       アボグク2 5年度日1         7 市成2 5年度日1       アボグク2 5日         7 市成2 5年度日1       アボグク2 5日         7 市成2 5日       アボグク2 5日	操作モード選択 処理フォルダ切替 フォルダ新規作成 フォルダ名の編集 フォルダの有除 フォルダの有除 フォルダの有除 フォルダの有除	新しいフォルダ名を入力します。
<ul> <li>■ 〒校2 4 4度用②</li> <li>■ 〒校2 4 4度用③</li> <li>■ 平成2 5 4度用○</li> <li>■ 平成2 5 4度用②</li> <li>■ 平成2 5 4度用②</li> <li>■ FK2 5 4度用②</li> <li>■ FK2 5 4度用②</li> <li>■ FK2 5 4度用③</li> <li>■ FK2 5 4度 FK3</li> <li>■ FK2 5 4度 FK3</li> <li>■ FK2 5 4度 FK3</li> <li>■ FK2 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5</li></ul>	№         データフォルダ         フォルダ名         平成254度用②         完了            1         データフォルダ         2         平成254度用①         完了	
「OK」ボタンをクリックすると、入力した 名前に変更されます。	- Taki + 4度用© - 平成2 + 4度用© - 平成2 5 年度用◎ 5 平成2 5 年度用◎	フォルタの一覧から、名前を変更したいフォルダを選択します。
「OK」ボタンをクリックすると、入力した 名前に変更されます。		
「「「な」かタンをクリックすると、人力した名前に変更されます。		
		「「「な」ホタンをクリックすると、人力した名前に変更されます。

#### ■ データフォルダの削除



## **12.** エクスポート/インポート

#### ■ エクスポート(フォルダの退避) / インポート(フォルダの復帰)とは

エクスポート、インポート機能は、データフォルダを対象として実行する機能です。

エクスポートでは、現在選択しているデータフォルダの内容全てを、エクスポートファイル(拡張子zdb)として 書出します。

インポートでは、退避したエクスポートファイルを、現在選択しているデータフォルダに読み込みます。

使用方法としては、データフォルダを他のPCに移動したい、特定のフォルダだけをバックアップしておきたい、 といった場合にエクスポート機能を使用してデータを出力します。

出力されたファイルを、任意のタイミングでインポートする事で、エクスポートされたデータの内容を復帰する 事ができます。

#### インポートを行うと、システムで選択しているフォルダの内容は全て上書きされます。気を付けてご利用下さい。

エクスポートファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。



#### ■ フォルダをエクスポートする



## **¶3.** バックアップ/リストア

#### ■ バックアップ(データベース全体の退避) / リストア(データベース全体の復帰)

バックアップ、リストア機能は、本システムが使用している全てのデータを対象として実行する機能です。 バックアップは、データベースの内容全て(すべてのフォルダ)をバックアップファイル(拡張子zdb)として 書出します。

リストアは、バックアップファイルの内容で、現在のデータベース全ての内容(全てのフォルダ)を置換えます。

使用方法としては、PCの障害対策として定期的にバックアップを行ったり、PCの再セットアップ前のデータ 保管に使用したり、データベース全体を退避・復帰する用途に使用します。

#### リストアを行うと、システムのデータベースは全て上書きされます。気を付けてご利用下さい。

バックアップファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。



#### ■ データベースをバックアップする

します。



■ データベースをリストアする

メインメニューから、データベースのリストアをクリックすると、データベースリストア画面が起動します。



# §5. 環境設定

# **1.** 環境設定

#### ■ 環境設定を行う

環境設定では、データベースのバックアップ設定や、各出力ファイルのパスを設定する事ができます。

メイン画面から、 環境設定 をクリックすると、シ	ィステムの環境設定画面が開きます。
<b>辺</b> 現設定             クライアント設定         既定値         計算             ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	データベースのバックアップの 行い方を設定します。
※1 5時の/シックションモーボ //シックションを行わるい ~ ※システム終了時のデータバースのパックアップ方法を指定します データバースパックアップブオルダのパス フォルダの変更 ロッドの D + 10 f × 0 - 12 + 11 - 11 - 11 - 12 - 12 - 12 - 12	データベースのバックアップ先 を指定します。
レ・キャアのgranulata+>of u#uuai itymanager=Uubbackup ※データベースのパックアップファイルを保存するフォルダを指定します テータファイル出力フォルダのパス フォルダの変更 C:¥ProgranData¥36fu¥Qual ityManager¥QutoutData	エクスポート先のパスを指定 します。
<ul> <li>※データのエクスポートでデータファイルを出力するフォルダを指定します</li> <li>Excel ファイル出力フォルダのパス フォルダの変更 C:#ProgramData¥Sofu¥Qual ityManager¥QutputExcel</li> </ul>	Excelファイル出力先のパスを 指定します。
※各種帳票の Excel ファイルを出力するフォルダを指定します	

出力先フォルダの設定を変更する場合、「フォルダの変更」ボタンをクリックすると、フォルダを変更できます。 「終了時のバックアップモード」では、システム終了時にデータベースのバックアップを実行するか否かを設定 しておく事ができます。

OK キャンセル

バックアップファイルは、下記のファイル名で取得されます。

QualityManagerDB.zdb

なお、このバックアップは毎回同じファイル名で上書きします。バックアップの世代管理を行う場合、ファイルの 名前変更とコピーを行ってください。

バックアップモードの設定値

項目	説明
バックアップを行わない	バックアップを行いません。
常にバックアップを実行	常にデータベースのバックアップを行います。
確認画面を表示して	システム終了時にバックアップを行うか否かの確認画面を出力します。
実行	確認画面で「はい」をクリックした場合のみ、バックアップを実行します。

# ¶2. 既定值設定

#### ■ 既定値設定を行う

既定値設定では、報告書データ入力で使用する既定値を設定しておくことができます。 「既定値」タブは、データファイルを作成した際、ここに設定してある既定値が設定されます。 「計算」タブでは、計算に使用する定数を設定しておく事ができます。 「印刷」タブでは、印刷(Excel出力)に使用する項目を設定しておく事ができます。

メイン画面から、既定値設定	をクリックすると環境設定(既定値設定タブ)が表示されます
環境設定	×
クライアント設定 既定値 計算 印刷 画面 逆算	既定値々ブ
会社名 梯創風道路	
プラント名 創風プラント	
試験者名創風太郎	ノラノ日盛         原点         回済           プラント温度         130         10
表紙出力様式 標準様式 >	現場温度 100 10
基準密度・抽出出力様式 標準様式 >	管理図
コア密度試験出力様式 標準様式 >	グラフ目盛     原点<
密度計算方法 かさ V	日間         粒度 75 μm         2         1           日常         基準密度試験         基         準         密         度         2.30         0.02
コア厚さ小数桁数 1桁 >	管理 理プスファルト 対度 2.36mm 34 2 対度 75/2mm 2 1
抽出試験方法 ソックスレー法 V	1世に追いる アスファルト量 5.0 0.2
力計の係数 0.15	□ □ □ □ □ 四 密度試験
パックの密度 1.08	場 粒度 2.36mm 34 2 常 コア44中転輪 乾度 75, m 2 1
体積換算係数 1.00	理 77.777/h量 5.0 0.2
推定針入度密度計算方法 見掛	現場密度試験 締はめ度  95   1
	OK キャンセル

項目	説明
会社名・プラント名	「会社名」「プラント名」欄の既定値として使用されます。
試験者名	「試験者名」欄の既定値に使用します。
表紙出力様式	基本設定-表紙様式の既定値に使用されます。
基準密度·抽出出力様式	基本設定-基準密度・抽出試験様式の既定値に使用されます。
コア密度試験出力様式	基本設定-コア密度試験様式の既定値に使用されます。
密度計算方法	基本設定-密度計算方法の既定値に使用されます。
コア厚さ小数桁数	基本設定-コア厚さ小数桁数の既定値に使用されます。
抽出試験方法	基本設定-抽出試験方法の既定値に使用されます。
力計の係数	マーシャル安定度試験、針入度推定試験の力計の係数の既定値に使用さ
	れます。
パックの密度	マーシャル安定度試験のパックの密度の既定値に使用されます。
体積換算係数	マーシャル安定度試験の体積換算係数の既定値に使用されます。
推定針入度密度計算方法	針入度推定試験の密度計算方法の既定値に使用されます。
温度測定	プラント温度、現場温度のグラフ描画範囲の既定値に使用されます。
初転圧温度下限値	基本設定-規格値-初転圧温度下限値の既定値に使用されます。
管理図	管理図のグラフ描画範囲の既定値に使用されます。



項目	説明
円周率(π)	ここに指定した円周率を使用して計算を実行します。
コア厚さ端数処理	切取コア密度試験において、厚さ平均の端数処理方法を選択します。
印刷用会社名	品質管理試験報告書(バックデータ)のフッターに印刷されます。
印刷用フォント	Excel出力の際に使用されるフォントを選択します。
印刷用日付書式	Excel出力の際の日付の書式を「西暦」「和暦」のいずれかから選択します。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択されに口付 書式 CEXCelが四刀されより。
表紙用 フリー入力欄	標準様式の表紙下部に印刷されます。
測定場所項目名称	各画面・Excel出力の、ヘッダ項目の名称に使用されます。
	日常管理と現場管理で、それぞれ別の名称を設定する事が出来ます。
温度測定項目名称	プラント温度・現場温度の項目名に使用されます。

# §6. その他の機能

# 1. その他の機能

#### ■ よくある質問(FAQ)を確認する

メイン画面の よくある質問(FAQ) をクリックすると、インターネットブラウザが起動し、弊社サイトに 接続します。よく頂く質問や、システムのエラーに対する対処方法などを記載していますので活用ください。 なお、この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。

🔱 株式会社創風アド	バンス 製品サボ 🗙	+	- • >		
-	株式会社 創風フ	1F/152	Fu		
	So	Fu アプリケーション サポートページ			
1	パッケージ	品一覧 リモートサポート よくある質問			
	FAQ よくある	間と回答			
	<ul> <li>材料試験・配合設計</li> <li>1. ■ シス</li> <li>2. ■ Vista</li> <li>3. ■ 実行</li> <li>4. ■ ファ・ 「-2:</li> <li>5. ■ 理問</li> </ul>	・品質管理・土質試験 「ムが起動しません」(材料・配合・品管・土質・印字) 「で「C:¥Program Files」にインストールするとエラーになります。 Pエラー3265「コレクションに項目がありません」が出ます。 17と開く・新規作成で次のエラーが出ます。 47467259(80004005)ディスクまたはネットワークのエラーです」 20の前度的ドリーズに含またはネットワークのエラーです」			
	印字管理				
	1.     2     シス:       2.     3     ASP(       3.     2     集計・       4.     2     モニ・       取込。     デー・       5.     2     デー・       6.     2     U G       7.     2     「編       8.     2     ASPC       表示:     3     3	らが起動しません。 (材料・配合・品管・土質・印字) PVUP02.EXEでコンバート実行時に「実行時エラー 3078」が表示されます。 どうた際、件数が不足する事があります。 画面で「実行時エラー282 (DDE職連)」が出ます。 通面で「実行時エラー282 (DDE職連)」が出ます。 作成で「実行時エラー30とうレクションに項目がありません」が出ます。 2取込みで「実行時エラー6 オーバーフローしました」が出ます。 実行すると「実行時エラー53」が出ます。 実行すると「実行時エラー53」が出ます。 PVUP02.EXEでコンバート実行時に「実行時エラー3011または3061」が されます。			
	<ul> <li>材料V4・配合V4</li> <li>1. ■ シス</li> <li>2. ■ イン</li> <li>3. ■ シス</li> <li>3. ■ シス</li> <li>4. ■ Vinc</li> <li>5. ■ Exce</li> <li>6. ■ 最新</li> </ul>	・品管V4・排水V4 ムが起動しません。(材料V4・配合V4・品管V4・排水V4) くトール時、DEP(データ実行防止)画面が表示され、インストールできません。 ムが起動しません。※その2(材料V4・配合V4・品管V4・指水V4) wws/10で入力モードの制御がききません。 出力する際、エラーが表示されシステムが強制終了します。			
	Windows関連	nue10ボコン・トロール パタルの事テ方はポわいりませく			
	1. 2 Wind 2. 2 しば しま 3. 2 Wind 4. 2 共有	ANALOGUE TE DU (PDDDARAJDECAD) ちょうい。 く操作をしないでいると、自動的に画面が暗くなったり、スリーブになったり Te Dws10で、高速スタートアップを無効にする方法について教えてください。 フォルダにアクセスすると、ユーザー名・パスワード入力の画面が表示されます	•		
-					
_	<u>(€ ₹</u>				
	C	pyright(C) 2021 Sofu Advance Co.,Ltd. All Rights Reserved.			

#### ■ 現在のバージョンを確認する



# §7. インストール

## ¶1. システムのインストール/アンインストール

#### ■ 各種ツールをインストールする

Quality Managerをインストールするには、創風アプリケーションツールCDをインストールする必要があります。 創風アプリケーションツールCDには、64ビット版のディスクと32ビット版のディスクがありますので、お使いのPC に合わせて使用するCDを選択してください。

※お使いのPCのOS種類やビットを調べるには、「マイコンピュータ(コンピュータ,または,PC)」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

CDをPCに挿入しますと、アプリケーションツールのインストールを行う事ができます。 インストールの方法は、CD内のインストール説明書(manualフォルダ内のtool\_install.pdf)を参照してください。 ※PDFを表示するには、Adobe Readerが必要です。

ツールのインストール完了後は、必ずシステムの再起動を行って下さい。

#### Quality Manager をインストールする

1. CDを挿入すると、下記の画面が表示されますので、 最新バージョン欄より、品質管理報告書作成システムの「詳細を見る」をクリックします。 続いて表示される画面の「インストール」をクリックします。

💟 SoF	u アブリケーション セットアップ × +		- 0 ×		W Quality Manager V4 セットアップ × +	• ×
SoFu	アプリケーション CD 製品-	·覧			🜆 品質管理報告書作成システム   [Quality Manager V4]	
					・ 品質管理報告書作成システム 本体 Ver.4.5.2017.0628 101	ンストール
最新バ	ージョン				・ 品質管理報告書作成システム 操作説明書 第10版	<u>.</u>
<u>A</u> a	材料試験報告書作成システム V 4	[Material Tester V4]	● 詳細を見る」		<ul> <li>編集機能説明書</li> </ul>	2
4	材料試験日常管理システム V4	[Material DM V4]	⇒ 詳細を見る)			
	配合設計報告書作成システム V 4	[Mix Designer V4]	→ 詳細を見る)		インストール要件 動作環境	
	排水性舗装配合設計システム V 4	[Mix DP V4]	● 詳細を見る)		・Windows8.1/Windows10(RTは除く) ・CPU Intel Core i3-4170(3.7GHz)以上	
de	品質管理報告書作成システム V4	[Quality Manager V4]	● 詳細を見る)		・メモリ 4GB以上 ・ストレージ SSD推奨	
	トラック誘導装置	[TG Indicator]	→ 詳細を見る	4/	・解像度 1280×1024推奨(1366×768対応)	
<b>.</b>	販売管理システム Pro	[PS Pro]	→ 詳細を見る		インストール環境における必要事項 <ul> <li>.NET Framework 3.5 SP1</li> </ul>	
-	マニフェスト管理システム Pro	[Manifest Pro]	→ 詳細を見る		・SQL Server 2008 Express Edition 以上 ・Microsoft Excel 2010 以上	
2	トラック検索システム	[Truck Searcher]	\ominus 詳細を見る		インストール手順	
2	工事原価管理システム	[Cost Manager]	→ 詳細を見る		<ol> <li>キシステムをインストールする前に「SoFu ツール C D 」のインストールを行います。 ツール C D のインストール手順15<u>oFu ツール C D インストール</u>思明書をご覧ください。 ※ツールCDが既にインストール挿像場合、ごの作員は必要ありません。</li> <li>ライセンス申請管理ソフト「ActClient」のインストールを行います。 ActClientのインストール手順は、ライセンス申請管理 操作説明書をご覧ください。 ※ActClientが限にインストール挿の場合、この作員は必要ありません。</li> </ol>	
	土質試験・地盤調査報告書作成システム	[Soil Manager]	● 詳細を見る)			
4	出荷管理システム	[PS Manager]	● 詳細を見る)			
	サイロ管理システム	[Silo Monitor]	⇒ 詳細を見る)			
	ジョン				3. ライセンス申請管理ソフト「ActClient」を起動し、ライセンス認証を行います。 ライセンス認証の詳細については、ライセンス申請管理、操作説明書をご覧ください。	
<u>ľí</u>	材料試験報告書作成システム V3	[Material Tester V3]	→ 詳細を見る			
<b>7</b>	配合設計報告書作成システム V 3	[Mix Designer V3]	🔁 詳細を見る		<ol> <li>キンステムをインストールします。 インストールを開始するには、このページ上部の「インストール」をクリックします。 かに、まてかってます。「また」されば「開く」されば、クレスくどさい、かなってきる)</li> </ol>	
1	配合設計報告書作成システム(中部版) V 3	[Mix Designer C V3]	● 詳細を見る		(A) 表示される画面の「美口」または「開く」をグラックしてくたさい。(※EO/#6) インストール手順の詳細は、SoFuアプリケーション インストール説明書をご覧ください。	
	配合設計報告書作成システム(近畿版) V 3	[Mix Designer K V3]	● 詳細を見る)		64-22 市15	
<u> </u>	品質管理試験報告書作成システム V 3	[Quality Manager V3]	→ 詳細を見る		特部争項 1.インストールは、必ず Administrators 権限をもったユーザーでログオンして行ってください。	
<ul> <li>上記</li> <li>イン</li> <li>ツー</li> </ul>	製品をインストールする前に、必す「SoFu ツール /ストールを行うには「詳細を見る」で表示された詳 -ルCD、アプリケーションのインストール方法は、	CD」をインストールしてく 細ページの手順に従います。 下表の説明書をご覧ください	たさい。 )。		2.FDFを見るにはAddube Reduct / か必要です。 Adobe Readerのグウンロー	EADER' ドはこちら
722	アル・操作説明書				<u>(E 175</u> )	
1.	SoFu ツールCD インストール説明書	第5版	Afreter		Copyright(C) 2021 Sofu Advance Co.,Ltd. All Rights Reserved.	
2.	ライセンス申請管理 ソフトウェア 操作説明書	第5版	Alexand	I		
3.	SoFu アプリケーション インストール説明書	第4版	Afete			
<ul> <li>PDF</li> </ul>	を見るにはAdobe Readerか必要です。	_				
	Convri	Adobe Reader	のタウンロードはこちら td. All Rights Reserved			
	Copyrig	And the second second second second	and the second s	1		

2. セットアップが開始されますので、「次へ」をクリックします。



 以降の画面も「次へ」を押していくと、システムがインストールされます。
 ※7の場合、途中の画面でユーザアカウント制御のダイアログが出る事がありますので、「はい」を クリックしてください。

岗 Sofu Quality Manager Ver.4.0	- • •
インストールの確認	
Sofu Quality Manager Ver.4.0 をインストールする準備ができました。 [)太へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル < 戻る(B)	) (N)>

#### ■ Quality Manager の初回起動について

本システムは、最初の起動時にシステムの自動構成を行います。 本システムを使用する場合、初回構成を行うために、1回だけ本システムの再起動を求められる事があります。 メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。 初回起動時は、システムが利用するデータベースを初期化するため、起動時間が多少かかる事があります。

#### ■ Quality Manager を最新バージョンに更新する 最新バージョンの確認 をクリックすると、本システムの最新バージョンを確認したり、 メインメニューの 最新バージョンに更新する事ができます。 この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。 最新バージョンに更新が可能である場合は、 インストール ボタンがクリック可能になっています。 x 最新バージョンの確認 最新のパージョンがあります。 最新パージョンに更新するには、「インストール」をクリックしてください。 ※更新を行う前に、データのパックアップを取得する事をおすすめします。 バージョン情報 お使いのシステムバージョンです。 品質管理報告書作成システム【Quality Manager】 現在のバージョン 2012.0930 4.0 最新のシステムバージョンです。 11 このバージョンに更新されます。 最新のバージョン 4.4 2016.0411 . <u>更新内容を見る</u> 更新の内容を見るには、ここをクリック します。 インストール キャンセル

更新を行いたい場合、 インストール ボタンをクリックしてください。自動的にセットアップが開始されます。 セットアッププログラムの操作方法につきましては、P - 57 - を参照ください。

## Quality Manager をアンインストールする

[スタート]→[設定]→[アプリ]の順にクリックし、「アプリと機能」を開きます。 表示されている一覧の中から、「Sofu Quality Manager Ver.X.X」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



画面の指示に従い、プログラムを削除します。

# §8. 注意事項

# ¶1. 注意事項

#### ■ データ保存場所について

本システムは、データの保管場所として、データベースである「Microsoft SQL Server 2008 Express Edition」を 使用しています。

このため、Windowsファイルを移動してもデータを読む事はできません。

別のPCからデータを読みたいなどの理由でデータを移動したい場合、フォルダのエクスポート・インポート機能 [P-48-]を使用する必要があります。

#### ■ ライセンス登録について

本システムでは、システムの使用に際してライセンスの申請を行って頂く必要があります。 ライセンスの申請作業を行う為には、ツールCDに付属の「ライセンス申請管理」ソフトウェアを使用します。 使用方法につきましては、ツールCD内の説明書をご覧ください。

# Quality Manager – 品質管理報告書作成システム

操作マニュアル

第11版 2022年6月

株式会社 創風アドバンス

〒945-0822 新潟県柏崎市穂波町1番25号 TEL 0257-22-8446